

---

# お水 裏街道

H A L

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お水 裏街道

### 【Nコード】

N1393D

### 【作者名】

HAL

### 【あらすじ】

お水の世界の素朴な疑問からキャバ嬢のコが直面する事柄について語ります。

**前置き（前書き）**

18 未満の方へ遠慮下さい

## 前置き

世の中、いろんな仕事がありんす。

近年もつとも身近になつた職業と言えは水商売ではないでしょうか。ドラマやテレビの企画番組などの影響で水商売の世間的イメージが大きく変わり、今や見た目にそこそ自信がある女性ならば一度は面接、体験入店した事があるのでは！？

華やかに見える店内、お酒を飲みながら楽に破格の時給を稼げるっ

と思ひ、挫折した女性も星の数程存在するでしょう。

中には、あれよあれよという間にナンバーワンに登りつめた女性もおられる筈。

お店で働いてみて、『何でこのコがナンバーワンなの？？？』と思つた事はありませんか！？

今回は、いろんな店舗で実際に働いていた僕が、そんな色々な疑問に応えていきたいと思ひます。

お客として通ひ詰めた人達では決して分からない裏側を書いていこうかなと思つています。

実際何人ものギャバ嬢と付き合い、その話や出来事を元にしていきますので、

客側の想像としてではなくキャバ嬢側の思考として楽しんで頂ければ幸いです。

水商売は甘くスリリングな世界：僕は6年程ウェ이터からホストまで、いろんな水商売をこの目で見て体験してきました。

良かった事もあれば、最悪だった事も多々あります。

水商売を知つた事で金銭感覚は確実に麻痺し、甘く危険な遊びを覚え、ホントに危険な隣人と親しくなってしまう：そんな事も高確率でありますので、これを見た皆さんでもし働くヒトがいましたら、よくよく注意して働いて下さいね。

一度入るとなかなか完全に抜け出せない世界：水商売とは、そんな

世界ですので。

最後に、これはあくまで僕自身の実体験や付き合ったキャバ嬢の友達に聞いた話を参考にしていますので、『それって違うんじゃない？』と思われるも軽く流して下さいねっ（笑）

**前置き（後書き）**

よろしく願います。

## 見えない努力

キャバクラはホストクラブと違い、見た目がそこそ良ければ会話ベタや未経験でも3ヶ月もすれば、売り上げ10番以内かなりの割合で入れます。店舗の大きさや設定金額の違いなど様々ですが、大体50〜80万といったところでしょうか。

実際見た目が抜群に良くて、働いて次の月にはナンバー3になったコもいましたが長くは続きませんでした。

フロア（店内）で女のコ達が接客している様子を僕達従業員は、よく観察しています。

フリー（指名なし）で入ったお客に、どの女のコが合いそうか見ていたり、何か失礼な事をしてないかとか始終考えています。

お客様の立場に立って物事を常に考える。そう、さつき話した見た目でナンバー3になったコが出来なかったのは、そこでした。ノリと若さだけでは限界があります。お客に指名され、何度か接客していく間にそのお客の趣味思考を把握し、努力する姿勢が足りなかったから段々と働く事がツラくなっていったのです。

ひとつでもいいから相手の好きな事を自分も上辺だけじゃなく、よく調べ理解する。常にナンバーワンのコは、この辺の努力は半端じゃないやありません。

見えない努力：大事ですね。

ある店舗のナンバーワンのコの話ですが、ある日お店に車椅子のお客がフリーで来店されました。

しかも口がきけないので身振り手振りで意思疎通をしなければなりません。当然、店の女のコ達は『何であんな人店に入れたのよっ！』といった感じで誰もテーブルにつきたがりませんでした。

そんな中、ナンバーワンのコだけは違っていました。

彼女は、そのお客様の接客中、必死に相手の身振り手振りを理解しようとして努力し、お客を満足させようと頑張っていました。

周りのコ達は、よくやるよといった冷やややかな反応でしたが、そのお客はとても喜びナンバーワンのコを場内指名し、帰りには僕達従業員に握手して帰る程喜んで帰りました。

そうして2日に1度はナンバーワンのコを本指名で来店するようになり、すっかり店の常連さんになりましたが、びっくりしたのは、そのお客様に対してではなくナンバーワンのコに対してでした。

その車椅子のお客が来店するようになって数週間…彼女は手話でお客様と会話が出来るようになっていたのです。

店のコ達もこれにはびっくりし、ナンバーワンのコは一目置かれる存在となりました。

見えない努力…大事ですねっ



## 何となく気になった事

皆さんキャバクラで働いて何か疑問に思った事はありませんか？  
スゴく気になった事から、何となく気になった事：何かしらあると思います。

例えばお店の営業が終わり、テーブル上のグラス類を片付け、翌日の営業の為に軽くセッティングした後、お店の女のコ達を男子スタッフが比較的近場に住んでいるコ数人に振り分けて車で送っていく訳ですが、『ん！？』と思った事はありませんか！？

普通、送りの時は近場のコから順々に送っていくものです。

そしてその順番は一度定着すれば、よほどの理由（急用など）がない限り変わりませんが、ある日を境にして変わってしまう事があります。

そう、送りの男子スタッフと女のコがデキてしまった時です。

今まで3番目に送られてたコが、ある日から最後に送られるようになった：という経験をされた人もけっこういると思います。

ふと疑問に思つて『ワタシより〇〇ちゃんの方が家近いよおっ』と男子スタッフに言つてあげたコもいるでしょう。

その瞬間、男子スタッフが送りが最後になった女のコ、どちらかが挙動不審だったり、妙に声が高くなったりしたら、ほぼ間違いなく2人はデキてます。

いつもあのコだけ社長がマイカーで送るという場合、そのコは社長に口説かれてる最中かすでに口説かれています。

この場合、月々うん十万の小遣いと賃貸マンション付きで。

口説き慣れてる男子スタッフならば怪しまれない為に、デキてるコを待ち合わせの場所を決めておいて、順番通りに送っておいて送りが終わってから会ったりします。（あらためて家に迎えに行く事もあります）

その位水商売の男子スタッフは手が早いです。

中には同じキャバクラの店舗内で女のコ達に5股を掛けてた…なんて強者や、強引に口説かれて付き合ってみたら実は、妻子持ちだったなんて事も結構ありますので、お店で働いてるコやこれから働こうかなと思ってるコは、よくよく注意して下さいね。

それが元でお店の中が嫌な空気になったり、お店に居られなくなったりクビになる事もありますので…（男子スタッフだけクビのパターンが多いですが）

僕の場合は、誰かにチクられバレましたがクビにはなりませんでした。

しかし段々といづらくなりますので従業員同士で付き合つのは、お勧め出来ません。仕事しづらくなりますしねっ（笑）

## キャバ嬢の時給について

キャバ嬢として働く理由といえば高い時給でしょう。

場所や店舗の規模にもよりますが、水商売未経験スタートだと平均2500〜3000円位だと思います。

人口の多い繁華街なら街全体の平均時給は高くなりますし、反対に活気の余りない街なら平均時給は低くなります。

例えば23区から少し下ったT市の平均時給は3000円で当然、僕の勤めていた店もスタート時給は3000円でした。

これを基本として主にマイナスしていきます。

1日3、4時間しかできないとか週2〜3日しかできないなどと店の主戦力として期待出来ないのので2500円位を女の口側に提示し、難色を示した場合、余程その口が欲しくない限り、やんわりと断ります。

後、見た目が明らかにマズい場合（かなり太っているなど）一応面接はしたんですけど、ちょうど募集がいっぱいになってしまつて、また募集が必要になった時にこちらから連絡します等、適当な理由を言つて帰ってもらいます。

大概の店は、1ヶ月時給保証をしていますが、1ヶ月を経過したら店側はシビアな時給査定を開始します。

査定項目は大体以下の通りです。

- ・総売上金額
  - ・指名本数の数（場内指名含む）
  - ・ドリンクやフードのオーダー数
  - ・1ヶ月の出勤日数と1日辺りの勤務時間
  - ・遅刻や欠勤の有無（頻繁だと確実に下がります。）
- などですが、大体店側がその口を支払っている総支給額をその口の売上が下回ると時給は下がります。

例外として、仕事中でも熱心に接客しているし、ヘルプや客引き

（今は厳しいですが…）も率先して頑張ってくれているなど、好印象の場合時給キープが稀に上がる事もあるので、余り売上が上がらないヒトは、そういう所でポイントを稼ぐと良いでしょう。

やってはいけないのは、遅刻欠勤が一番ですが、ヘルプを頼んだ時の態度が悪いと印象は悪いので気をつけましょう。

待機中の態度も男子スタッフは見えないようで、とてもよく観察していますので、あんまりだらけてたり他のコとお喋りばかりしていると査定に響く事もありますよっ

最終的に勤め始めて3カ月経過した時点（4ヶ月目）で最初の時給より千円前後下がっていたら、店側としては『自分から辞めて』と無言の圧力を掛けていきますので他を探してみましょう。

## ヒトの内面

水商売を長くしていると、普段では余り見る事の無い場面を度々見る事があります。

例えば、見た目羽目を外す事が無さそうに見える小学校の教頭先生が、お店に学校が終わり飲みに来ると一変して変人に豹変したり、彼女が付き合ってから間もなくキャバクラで働くようになり何か原因があつて振られてしまい、危ないストーカーになつてしまう元カレ（連日客として元カノに会いに来店し、金が無い時は店の前で待っている）等、人間の普段人前では隠している部分を垣間見る事が出来るのです。

キャバクラに勤めている人間は、仕事の性質上、人間観察したり人の内面を考察する事に段々と長けてきます。

つまりそれが上手いヒト。お客のニーズに上手く応えられる売れるキャバ嬢となる訳ですが、その能力に過信してあんまり調子に乗ると思わぬハプニングに巻き込まれる事が稀に起こってしまいます。

水商売は、ドロドロした世界。客に物を買ってもらつたり、現金を貰つたり借りたりは、ある程度のキャリアになつてくると大なり小なりあります。

客の本質を見誤ると、限界まで金を吐き出した客は普通来なくなる程度ですが、ごく一部危険なストーカーに様変わりしてしまいます。僕の知り合いで、客とトラブルになりその客が元その筋の方で、そのコの実家や知り合いまでが執拗な嫌がらせや暴力に悩まされ、一家で夜逃げのように引越しを余儀無くされたコもいました。

そのコも客が金に余裕のある人だと調子に乗ってブランド物を何度となくおねだりしたのが原因ですが、その結果周りの人達に多大な迷惑を掛ける事になつてしまった訳です。

ちなみにそのコはしばらくしてからまた一人暮らしを始め、キャバクラに復帰しました。

怖い思いをして家族に迷惑を掛けても止められない世界…それがキ  
ヤバクラなんですネ。  
皆さんもどうか気をつけて下さいませ。

## スカウト基準

少し見た目に自信のある女性ならば、街中を歩いていると見るからに水商売の人間に声を掛けられた事がある筈です。

そうキャバクラのスカウト、別名カラス族。

少し前に駅前でカラス族一斉摘発があり有名スカウトマンが捕まりましたが、店側としては他店と差をつける為にもスカウト行為をやる訳にはいきません。

スカウトには店の男子スタッフが営業前に行うのと、専属スカウトマンによるスカウトがあります。

専属スカウトマンがいる店は繁盛しているか系列店舗が多い力のある会社のキャバクラの可能性が高いので、働く店を選ぶなら専属スカウトの方が優遇されるでしょう。

僕自身も連日スカウトには行きました。半分仕事、半分遊びでっ（笑）

というのも、連日スカウトの為例えば駅前で女性に声を掛けていると、はつきり言ってテンション落ちます。

100人声を掛けて話を聞いてくれる人は10人にも満たないので、精神的にキツくなりますし結果が出ないと更に落ちます…

メインの仕事は店内業務なのに、その前にクタクタになってしまう…そう思った僕は、半分話術の練習（店内のお客様とのトークや客引きの時に役に立つので）とナンパのつもりで気楽にやるようにしました。

当然私服でスカウトし、気分が乗らない時は喫茶店でコーヒーを飲み、全くやる気の無い時は軽くパチンコをしたり…

その位の気持ちでやった方が案外上手くいったりします。楽しみながら何でもやった方が良い結果が得られたりしますよねっ話が反れましたがスカウト基準というモノがあり、スカウトした女性を言葉は悪いですがランク付けをします。

会社や店によってマチマチですが、大体以下の通りです。

Aランク：容姿が抜群、経験者なら尚更良い。

各ランクには上中下とあります。

Bランク：容姿はまあまあで第一印象が良い（雰囲気や笑顔等）

Cランク：見た目はやや劣るが一応スカウトする。（後々化ける事があるので）

Aランクなら7～10万、Bランクなら4～7万、Cランクでは1～3万円がスカウトした女性がちゃんと1ヶ月お店で勤務した後でスカウトマンに店側から支払われるのですが、あんまりちゃんとした経営者ではない店だと、払ってこない事があります。

客引きにしても一組連れて来れば〇〇円バックとしている店もありますが、後でそのシステムが勝手に無くされていて、やる気無くさせてくれる事も何店舗ありました。

貴女がもし街中で専属スカウトマンにスカウトされ、程なくしてお店で働き始めた後、日に何度もメールや電話できめ細やかなアフターケアを1ヶ月の間受け続けたのならば、貴女はAランクの可能性が限りなく高いという事ですっ



## キャバクラの肝

キャバクラの経営：皆さん、どう思います！？例えば楽そうだったか儲からない感じがするとか。

実際のところ正直、人次第です。

『それって随分アバウトじゃないっ！？』

と思われた方、ごめんなさいっ（汗）

もう少し突き詰めて言えば：人次第ですっヤツパリ（汗）

つまり女のコの見た目のレベルも大事な要因の1つですが、そんなにぶっちゃけ超美形が揃う事なんてありません。

『あるよっ！！』と思った方、それは店側の演出やスタイリストさんや女のコ個人の努力による効果（キャバ効果）です。例えるならスーツ姿の男性が普段着より2割増し男前に見えてしまうかのよう  
な…

一年程前に同じような規模のキャバクラの店舗同士（女のコの数も同数）がオープンして一年後、売上に倍近く差があった場合、何故そこまで明確な差が出たのでしょうか！？

そうなった要因を列挙すると長くなるので省きますが、キャバレンジャーの方ならピンとくるかと思います。

その2つのお店：男子スタッフに明確な差がありませんか！？

売上の好調なお店の方は、男子スタッフが礼儀正しく元気良く一生懸命動いているはず。

一方、売上の低迷している店舗は男子スタッフの態度も横柄で対応もいまいち遅く、やる気があまり感じられず、そのくせ自分の見た目にはとてもこだわるズレた男子スタッフ。

本当にやる気があって頑張っているヤツは髪型を気にする余裕すらなく神経を研ぎ澄ましフロア内のお客様と女のコ達に目を配り気を配っています。

『そんな事言っても売上上げるのは、女の子コ達だろっ』

とお思いの方、男子スタッフが一生懸命だと、どういう効果があるかというと…

お店の雰囲気明らかに変わります。

お客様のお店に対する印象も圧倒的に良いのです。

つまり、男子スタッフの対応や人間性に好感を持ち、仮にお客様の指名していた女のコが辞めてしまってもフリーで来店してもらえ確率が格段に上がり、やがては別の女のコを指名してもらえようになります。そんなやる気のある男子スタッフのいる店舗だと、当然女のコのやる気も向上します。

僕自身の話になりますが、常に一生懸命頑張っている姿を女のコ達はちゃんと見ていてくれるもので、僕が頑張っている姿を見て『私も頑張らなくちゃ！』と思ったと言ってくれたコがかなりの数ありました。

僕の最初にお世話になったやり手の店長も『店の売上は男子スタッフで決まる！』とおっしゃっていました。

やる気があつて女のコ達にも尊敬される男子スタッフが1人辞めただけで、その後その店の規律は乱れ、他の男子スタッフもだらけ始め女のコ達から不平不満が溢れ出し、半年後に閉店した…という話は本当にあるんです。

これからキャバクラを開業したいとお思いの皆さん、その際には是非男子スタッフの教育と、どうしたら男子スタッフがやる気を出して働いてくれるかを考えて開業させて下さいねっ

## ヤバイお店

日本中に星の数ほどあるキャバクラですが、内容はピンきりです。前回キャバクラの売上は人次第と書きましたが、経営者のビジョンと店長の力量…これも大事な要素となります。

店長の力量は、キャバクラでなくとも当たり前の話ですが、経営者がいい加減だと被害を被るのは、第一に現場で働くスタッフ（女のコや男子スタッフ）です。

つまり、最終的にツブれる訳ですがその場合、給料が支払われない事がかなりあります。

えげつない経営者だと給料未払いの事を言うと逆ギレして『お前達がもつと客呼ばんから店が赤字になったんだろうがっ！』と怒鳴りつけられ、泣かされるコもいます。

中には店が赤字で2ヶ月給料未払いの状態、だけど店の寮に入っているから辞められないコもいました。

そのコも流石に3ヶ月目も給料の支払いが無さそうだと見て、実家の両親に頭を下げ、車で昼間来てもらい家財道具を運び出してもらい何とか店からバックレる事が出来ました。

後日、このコが働いていた店では働いていたコ全員が給料未払いだったそうで、系列店舗でも何店舗か未払いだったそうです（

）！！

；

これは西武池袋線のある街の話で現在もその街では数店舗営業しているのです、働くお店を探す際には気をつけて下さいねっ

少しヤバイ店の見極め方をアドバイスしたいと思います。

完璧に見極めは出来ませんが、以下の例に該当する場合は注意が必要です。

注1：お店に男子スタッフが1人しか在中していない、または1人で何店舗か見ている為、男子スタッフが居ない時間がある。

注2：給料が他のお店に比べかなり低いのに、オーナーは高級外車

を転がしている。（自分一番主義の可能性大）

注3：お店の名前を短期間にコロコロ変える。

注4：お店の女の口に手を出す、または奥さんが元お店の女の口。

（公私混同）

注5：犯罪行為を男子スタッフに強要する。（カードの二重請求や客の様子を見てのぼったくり）

注6：既に在籍している女の口にやる気が見られない。（男子スタッフが腐っている可能性大）

以上のような条件の内3つ当てはまっていたら危ないです。

僕自身も注1と注3に当てはまる店で働いていた時、給料が遅延して（女の口達もでしたが）辞めた事がありました。

後日、給料を貰いに行った時そのオーナーは財布から8万出し、『事前に辞める事を言わなかったからこれでいいなっ』と僕に手渡し、内心『これでいいなって半分もねえじゃんっ！』とムカついていたら、ヒョイと僕の手のひらの8万から1万つまんで『財布が空になっちまうからやっぱり7万なっ』と、一緒に入った喫茶店から1人意気揚々と去って行ったのを（；）状態で見送ったのを今でも覚えています。そのオーナーはケチで有名だったそうですが、当時経験の浅い僕には見抜けませんでした。キャバクラやパブクラブ等選ぶ際には、楽そうだったという店選びには注意して下さいねっ

## ママさんの裏事情

キャバクラとは少し違いますが、パブクラブやパブスナックってありますよね。

一般的には、キャバクラより安価でコンパクトなお店ですが、こういうお店にはママさんがよく居たりします。

見た目はジャイアンのような方から美人令嬢といった方まで様々ですが、今回は後者の方のお話。

ある街のあるパブスナックに年は35才位の美人のママが居ました。パツと見、お嬢様育ちの美人な女性といった感じで雇われママで水商売経験も浅い割に人気がありました。

程なくしてそのママにも彼氏が出来ました。お店の常連さんだった方です。

時が経つにつれ、そのママさんは悩み始め、段々と深刻に悩み始めました。

お店が終わった後、軽く話を聞いてよと言われ、水割りを飲みつつママさんのお悩み相談が始まりました。

『今、彼氏と付き合ってるでしょうっ私さあゝ隠してる事いっぱいあるんだよねえっ』

ママは、普段言えなくて溜まっていた思いを第三者の僕に話し始めました。

『今のご時世、隠し事くらい大した事ないよっ』と思いつつ笑顔で聞いていると、

『彼氏32才なんだけどさあ、私35って言うてるけどぶっちゃけ42なのよねえ』

僕は、そのくらい平気ですよっ 年の差カップル流行ってるしつと助言しました。

すると続けてママは語ります。

『後、バツイチなのとは言っただけど、子持ちとは言っていないのよお

「…今17の女の子と19の男の子なんだけどさあ」

僕は心の中で『それはちよつとキツイ』と思いつつ、まあでも付き合うだけなら関係ないかつ　　と思い、『ちよつと（！？）ビツクリするかもしれないけど平気だと思いますよ。付き合っているだけなら問題ないしっ』

そう言いながらタバコを吸おうとテーブルに手を伸ばすと、更にママさんは続けて言い出します。溜まっていたストレスを吐き出すかのように。

『そんでねえっ実は彼氏に結婚しようって言われててね、私の子供が欲しいって　でもさあゝ私、かなり顔イジツてるんだあっ…目も整形だし頬はワイヤー入れてシワ伸ばしてるし、ヒアルロン注射はひと月事に射ちに行ってるし。彼氏二重でしょっもし一重の口が産まれたらバレちゃうよねえゝっ』

ちよつぴり引いた僕は努めて普通に『それは言わなくていいと思いますよ。人間誰にも言わず隠してる事なんて1つや2つあるもんだからっ』と内心改造人間ですかっと思いつながら助言し、そろそろ終わりだろっと思っていると…

『それとさあ…私、ここでママやる前デリヘルの経営してたんだけど、そこでクスリもさばいてたのねっそこで警察に摘発されちゃって、今執行猶予中なんだけど、それってバレないかなあゝ！？』

結婚はやメなさいっつ！と強く思いつつ、『バレないと思いますよっ　お互い愛があれば大丈夫っ大丈夫っ』と思つてもいない事を言い、さつさと後片付けして帰りました。

皆さんも見えた目お嬢系のママさんに会ったら、その裏の顔も見極めてみて下さいねっ

## 飲まないお客（前書き）

聞きたい話や書いて欲しい水商売の話があれば教えて下さいねっ

## 飲まないお客

水商売は飲み商売。酒という媚薬があつて成立する商売ですが、当然飲めない女の口もいれば飲めないお客もいます。

お客様は、飲めなくても来店している間とても楽しんでいますが、接客する側は少しキツイと思います。

酒の力は皆さんも良い事悪い事ひっくるめて御存知だと思います、お客様が飲まないのに、『遠慮しないでどんどん飲んでよっ』という言葉に甘えて本当に1人だけ飲みまくる訳には、いきませんよね！？

飲まないお客様というのは、総じて目当ての女の口の一挙手一投足をよく見ていますが、そういったお客様こそ店側は大切にすると良いですっ　というか、常にシラフのお客様を意識したサービスを男子スタッフも心掛けていれば、そのキャバクラは潰れる事は無いでしょう。

皆さんは接客業の経験は無いとしても、居酒屋で注文した際ぶすつとした表情や態度の店員が応対した時、内心『何コイツつやる気あんの！？気分ワルツッ』…これに似た感情をもつ筈。

そしてよっばどその後、対応の良い店員かお目当ての店員でも居ない限り、その居酒屋に率先して行きたいとは思いませんよね。

第一印象とは商売では、とても大切です。つまりシラフのお客様とは、この第一印象と同じで、シラフのお客様の評価の高い店（女の口、男子スタッフ含めて）は他のいっぱい飲んでテンションの高いお客様の評価が高いより、僕はお店を評価します。

僕自身、現役の時には他店に飲みに行き、ワザとシラフのままで店全体のサービスをチェックしていました。

飲まない客〓金にならない客と判断して余りこちらの事を注意していない店より逆に僕に何かを感じきめ細やかなサービスを提供してくれた店舗の方が後々までお店は繁盛していました。



キャバ好きの皆さん、シラフのお客様と知り合いになると質の良い  
店舗情報が得られるかもしれませんよっ

## 様々なケース〔浮気編〕

もう少しでクリスマス、1年で恋人同士が1番盛り上がる時期ですが商売柄、キャバ嬢やホストにとっては1番売り上げを上げられるイベントなので彼氏彼女より、仕事が優先される事も多々あります。皆さんの中には、恋人がキャバ嬢、又はホストだという人もおられるでしょう。

そして付き合っている程度月日が経つと色々と相手の胸の内が気になってイライラしちゃいませんか！？

1番心配なのが浮気…そして自分は本命なのかと。

僕自身、キャバクラの男子スタッフだったりホストだったり、又は自分は無職で彼女はキャバ嬢だったりしました。

浮気したり浮気されたりは、ある意味つき物でした。

しかしほぼ浮気しないタイプもいますので一概に言えませんが、経験上コレはアヤシいという事をお話します。

ケース1：恋人が水商売だが、同棲している。：同棲しているから安心っ という訳ではありません。1番安心ではありますが100%ではありません。

例えば、付き合い始めの頃には仕事にお揃いの指輪をしていってくれたのにしなくなった。

お客に恋人いるよっ とはつきり言ってくれていたのにいないと言うようになった。（指名してもらうには、やっぱりしょうがないよ。という言い訳も信用できません。）

毎日ある程度決まった時間に帰宅していたのに、週に何日かいつもより遅く帰るようになった。（よくある言い訳はアフターや同僚とのミーティング）

以上のような場合、かなりアヤシいのでご注意を。

ケース2：店内で意気投合し、付き合い始めた場合。

この場合、ノリという要素が強い為最初の1ヶ月である程度自分が

相手にとってどういう存在か分かります。

分かり易いのが相手の働いている店に恋人なのにお金を払って来店しているという貴方：キケンです。

またお互い誕生日プレゼントを相手に贈ったのですが、自分は高価な贈り物をしたのに相手はその半分もしない物だったら：キケンです。

このケースの場合、他にも恋人と称する輩がいる可能性がありますのでご注意を。

ケース3：付き合い始めてから恋人が水商売を始めた場合。

女性の場合は純粋にお金目的の場合が殆どですが、男性の場合、特にホストを始めたいという男性はテレビの特集の影響などから淡い夢を見たり、女の子にモテたいなど少し動機がヨコシマなので、その時点でご注意を。

こういう場合、仕事を始めて1ヶ月位は連絡が余り無く、ホストに限界を感じた頃連絡があつたりしますので、長い目で自分も遊びながら相手が自分の手元に戻ってくるのを待ってデキた女性を演じるのも1つの手です。

他にも色々なケースがありますが、相手の様子が以前と変わり始めたらずし注意して観察する事をお勧めしますっ

## 心の隙間（前書き）

読みたい知りたい水商売の事があれば教え下さいねっ（＾－＾）

## 心の隙間

水商売は人商売。いろんな人々に出会います。

僕自身は、お客としてキャバクラにハマった事はありませんがキャバクラやホストにハマるタイプは人一倍寂しがり屋な人間だと思います。

家に帰ると寂しさが込み上げてくる…

人といえるのに何故だか孤独感が心の片隅に常に存在する。

こういったタイプの場合、依存症になってしまう可能性がとても高いでしょう。

僕は、こういったタイプの人を『心に隙間を抱えた人間』と呼んでいます。

もちろん僕自身もこの人種です。ここで肝心なのは、自分が『心に隙間を抱えた人間』だと客観的に理解しているか！？という事です。『心に隙間を抱えた人間』は、無意識の内に隙を漂わせています。自分にはそんなつもりはなくても…

それは目線であったり表情や姿勢であったり様々ですが、寂しさ故に人に自分を受け入れてもらいたいと思う潜在意識からそうしてしまう癖が…

気をつけて頂きたいのは、こういった心の隙間を抱えた人間を見極め獲物にする人間が水商売には、とても多いという事です。

水商売に長く適応した者は、『心に隙間を抱えた人間』をファーストコンタクトで見抜く事が出来ます。僕の場合はその人をパッと見た瞬間分かります。

同じ人種という事もありますが、その人の眼と表情から分かるのです。

こういったタイプの人は情が厚い場合が殆どで、長い時間利用されてしまう事になりかねないのでご注意を。

『情が厚い人が何で同じようなタイプの人を騙したり利用するの！

？』と疑問に思った方もいると思います。

問題は、自分が好意を持った相手に情が厚いのであって、そうではない相手にはとてもクールなのです。（表には出しませんが…）表面上は、とても優しく穏やかに…しかし代価として結果高額な支出（飲み代や現金）を余儀無くされる。

またこのタイプはマインドコントロールされやすいので気をつけて下さいね。

そういう事にならないように自分が『心に隙間を抱えた人間』かも！？…と少しでも頭をかすめた方、もう一度自己分析をしてみても如何でしょう。

## キャバクラの派閥、そしてトラブル（前編）

もうじきクリスマスですねっ

街はイルミネーションで華やかになり、業者はあの手この手で自分の所の商品を買ってもらおうと必死に頑張っている訳ですが、水商売もこれから年末にかけて1年で1番稼ぎ時を迎えます。

従業員（この場合、男子スタッフ）にとっては地獄のような毎日が少ない正月休みまで続く訳です。（男子スタッフの皆さんユニール飲んで頑張って下さいねっ）

全然関係無い話しちゃいました、キャバクラと言えば色々な女性がいっぱい居ますよね。

1つのお店に30～100人位まで様々ですが、僕は大体40～50人程度のお店でよく働いていました。

といっても毎日お店に出勤してくるレギュラー組は20人程で、後は週2～4とか出勤時間が短いなど主戦力ではないコ達ですが。

しかし、これだけの人数の女性が集まるとやっぱり気が合う合わないが生まれ、気がつけば派閥のような構図が日が経つにつれて出来てしまいます。

さしずめ現代の大奥と言ったところでしょうか。

大概まずは同年代とかノリが合う同士で仲良くなります。

後は、見た目が似てる同士とか共通点があるコ達が固まる傾向がありますね。  
メイクとかファッション

別枠として、既にNo.1になるコ（大概は他店から引き抜いてきた有望株のコ）はこういったサークル感覚の集団には、自ら入って来ません。

接客をしていく内に当然No.1のコなのでヘルプの女のコ達が何人も必要です。毎日何人も女のコ達がNo.1のコのテーブルでヘルプをする内にいつの間にか派閥が誕生するのです。

理由は様々です。自分がNo.1のコに気に入られれば最初ヘルプ

でも場内指名されたりドリンクオーダーさせてもらえたりと、自分の利益になると考えるコも居るでしょう。

また、すごく接客の勉強になるっ！と思うコもいると思います。こういった素直な気持ちでヘルプに着いてくれるコを可愛がる事がN o . 1 のコには多いです。

そうして可愛がられたコも程なくして売上上位になる事がほとんどですねっ

働いていていつも思った事は、『1番のコって何故だか孤独に見えるんだよなあ…』という事。

他のコ達みたいに終わった後、飲みに行ったりカラオケ行ったりして親密になるって事が僕が見てきたコ達には無かったなあ…

まあそんな時間があるなら売上の為に、お客とアフターしますっていう事なんでしょうけど、少し寂しいなあと思ひまして…

派閥同士でぶつかり合う！！なんて事はドラマじゃあるまいしありません。

売上が伸び悩んでいるコを仲間同士で助け合う事はよくありますが、夜王のような事はないのであしからず：m(u—u)m

1番困るのが仲良しでヘルプに着いてたコが起こすトラブル…小さい事ではタブーを口が滑って口にする。デカいやつだとお客に指名のコに内緒でおねだりするパターンです。

実際にあった話ですが、指名のコとヘルプのコはお店で仲が良く、2人一緒にテーブルというのは当たり前でした。

ある日指名のコが当日急遽休みになり、それを知らないお客は来店してしまいました。

僕は、お客に事情を話し申し訳無いが今日だけフリーで飲んでもらおうとしましたが、ヘルプでいつも着いていたコが『ワタシが着くよっ 後で〇〇さんが来た事、 チャンにはワタシが言っておくからさっ』と言ってきたのです。

僕は一瞬悩みました。指名のコに先に一言言ってからの方がトラブルにならないし…。しかし携帯が繋がらない為、お客にとっても



ヘルプでいつも馴れてるコの方が良いだろうと思い、そのコに着いてもらいました。

程なくして問題が発生しました。ヘルプのコに場内指名が入ったのです。

今まで一度も場内なんて無かったのに…

僕は内心『あのコ、まさか指名のコが居ないからって自分からお願いしたんじゃないだろうなあ！？』と訝しがり、テーブルで上機嫌で梅酒を飲んでいる女のコを見やりました。

女のコは微妙な笑顔で故意なのかどうかは、その場では分かりませんでした。

その後店がとても忙しくなり、そのテーブルばかり気にする余裕もなくなり、気が付けばお客は会計を済ませ帰るところでした。

僕は『本日は申し訳ありませんでした。』と頭を下げ見送り、何となく僕と目線を合わそうとしなかった女のコの所に言っただけの場内指名のいきさつを尋ねました。

『あっアレねっなんかワタシの事気に入ってたんだけど、チャンにはワタシから上手く言っておくから気にしないで大丈夫だよっ』

本当に大丈夫かあ！？と内心相当思いましたが、余り深入りしたくない気持ちもあり任せる事にしてしまいました。しかし問題は2日後に勃発したのです…

(長くなったので次話に続くm(ー)ー)m)

## キャバクラの派閥、そしてトラブル（後編）

ヘルプのコが『上手く言っておくからっ』と言った翌日、昨日休んだ指名のコが出勤してきたので、『チャン体調大丈夫！？昨日〇〇さん来店したんだけど　チャン携帯繋がらなくてさっ〇チャンから昨日の事聞いた！？』

僕は当然、昨日のヘルプのコの言葉を鵜呑みにしていたので笑顔で尋ねると、指名のコの表情がいつもの笑顔から一辺して厳しいものになったのを見、『アイツ言っただけなっ！』と思いました。

慌てて取り繕おうと僕は指名のコに昨日のいきさつを素直に話し、自分が軽率だったとそのコに謝りました。

『〇〇クンのせいじゃないよっ気にしないでっ　ワタシが電話繋がらなかったのがいけないんだし。でも、ちょっと気になるかな…〇チャンに聞いてみるねっ』

心の中で『ええコやあ』と思い様子を見てみると…

『〇　チャン電話留守電になってる…〇〇さんに聞いてみるよっ』

…そう言いお客の方に電話を掛けたのですが、お客の方も留守電だった為ヘルプのコが出勤してきたら事情を聞く事にして営業前準備を続けました。

ところがお店が始まってヘルプのコが一向に出勤してきません。

連絡も無いし、携帯も相変わらず留守電のまま…

『何かあったか！？』と不安に思っていると、僕の様子を見ていた指名のコが尋ねて来ました。

「〇　チャンから連絡あった！？」「いや、携帯も留守電のままだし…とりあえず様子見るしかないかな。」

そうして、その日は何の連絡も無く1日の営業は終了してしまっただけです…

『自分で説明するって言ったんだから、ちゃんとしろよっ！』心の中でムカつきながら大事にならなければいいけどと思い、送迎に

向かいました。

そして運命の日：僕は、いつも店に1番に入って営業前準備をします。

後輩をアテにして準備が出来ていなかったりすると嫌だったので、自分で好きなBGMを聴いて準備するようになりました。

その日、いつもは静かな店のあるビルの地下1階から何やら人の声が聞こえます。

『んっ！？もう誰か来てるのかな！？』と思いながら階段を下りると、店の前には部長と数人の女のコ達が居ました。

「おはようございます、部長。どうかしたんですか！？」

「おはよう、〇〇クン。実は　チャンと〇　チャンがお客様の事でトラブって…今、隣の居酒屋で話し合ってるんだよ。」

『やっぱりか…』そう思いながら、何かやらかしやがったなと溜め息をつく、一緒に居た女のコ達が僕の前に立ちヘルプのコの文句をまくし立て始めました。

「〇〇クンっ聞いてよ！！〇　チャン、ヒドいんだよ　チャンのお客様さんと勝手に内緒で会って、ROLEXの時計買わせたんだってえっ！！」

マジかよ…ROLEXの時計はレディースで定価50万円程度。それをあろうことか人のお客様に買わせるとは…

当然、話し合いでの解決は見込めず、部長が仲裁に乗り出しヘルプのコは系列店に移籍、ROLEXを買わせたお客様のアドレスもその場で消去させられました。

しばらくは店では、そのヘルプのコの文句が飛び交い険悪なムードが漂いましたが、その内落ち着きました。

仲が良くても予想だにしない事態が起こり得る…マジ女はコエエなあと知り知った事件でした。

皆さん、他のコが羨ましくてもこういう行為はやめましょうねっ

## 接客と年齢制限！？

キャバクラやホストクラブでは、概ね10代〜20代前半の人達が働いています。

最近は年上の女性が社会的に人気がありますが、上記の場合メインはやっぱり若い人達です。

お客のニーズがやはり若い人がいいという声が多いという事もありますが、若いという事が売上を上げる重要な要素になるからです。

皆さんも経験があると思いますが、10代の頃有り余る自信と負けん気とやる気度がむしろに突っ走ったことでしょう。

僕の場合、水商売の道に入ったのは23才の時で他の人達よりも遅かったのですが、もっと若い内に始めていたらなと思う事が何度となくありました。

ウェイター業務に関しては、やる気があれば何とかなりましたが接客は、やる気だけでどうにかなるモノではないからです。  
ウェイターとしてではなくホストとして

はつきり言ってキャバクラのお客よりも、ホストクラブのお客の方が色んな意味で厳しいです。

話術・盛り上げ方・テーブルマナーに至るまで、こういつては語弊があるかもしれませんが、どちらも見てきた僕自身そう感じました。具体的にどう厳しいのか！？というと、まず男性客より女性客の方がシビアに物事を見ているという事。

ヘルプに関して言えばキャバクラの男性客の場合、基本的に男は指名の女のコでなくとも態度をあらさまに変えたりキツくなったり余りしませんが、ホストクラブの女性客は違います。約半数の女性は明らかに変わります。

それを敏感にホストは感じるから萎縮し自分が満足出来る接客が出来ず、結果お客の機嫌を損ねてしまう事が多々あるのです。

男性客なら『まあまあ大丈夫だから気にしないでっ』といった言葉が女性客だと『何アンタっやる気あんの！？他のホスト呼んでよ

っ！』となる訳です（Ｔ―Ｔ）

そして他にも若い方が良い面として適応力の高さがあります。

例に出して言えば、カラオケの曲を覚えるのもテーブルでのコール、タンバリンの演奏など、若いコの方が普段からある程度知っていたりして覚えるのが早いです。

また年を重ねてくるとテンションを上げる事がとても苦しくなってきます。

よく言えば人間的に落ち着くという事ですが、ホストクラブでは余りプラスになりません。

恥をかく事に対しても抵抗が強くなってしまいます。

僕自身は24〜26才までがホストをやっていた一番良かった時期です。その後2年程やりましたが、自分がホストを楽しんでやってなかったという事もあります。が苦しい思いをしました。

まあ途中辞めてまた新たに違う場所で1から始めたからですが、やっぱり始めたばかりが1番という事です。

もつと若い内に始めたかったと24才で上手くいった時、思ったのですから。

『じゃあ若くなくちゃ接客業はダメなのか！？』とお思いの方、そんな事はありません。

仕事にはニーズがありますっ（\*ハ―ハ\*）

そこらへんは次回お話ししますねっ

## 20代半ばからの水商売（男性編）

女性が働ける水商売には主に、キャバクラ・パブクラブ・パブスナック・熟女パブ・スナックがあります。

キャバクラから順に年齢層が上がっていき最終的には60代位までが働いていますが、男性にもこれと似た感じで、ホストクラブ・メソパブ・メンズクラブ・サバー・メンズスナックなどがあります。ホストクラブからメンズクラブまではシステムの事や働いている男性の年齢層に大きな違いはありませんが、サバーとメンズスナックは少し違います。

まずは働いている人が主に20代半ばから上は40代位までです。僕はどちらの形態の店でも働いていましたが僕より年下は2人だけでした。

お客の年齢層も高めで10代のお客は数える程で、メインの客層は30～40代です。

システムも指名はほとんどの店では無く、料金もリーズナブルに設定してあってボトルを入れてフードを2品オーダーしても一万円あればお釣りがきます。

お店によっては同伴料だけ取る店もありますが、2～3千円です。サバーなどなら充分20代後半から30代でも働けますし、お客様の年齢層が高いので落ち着いた接客ができます。

従業員同士も指名のお客の取り合いが無い為、すぐフレンドリーな関係を築き易く僕はホストクラブで働いていた時より『なんてやり易いんだっ』と思いました。

ただし指名が無いという事は出来高制の要素がホストクラブに比べ格段に低く、いくら売上を上げても即給料アップにならないという事です。

徐々に時給が上がりますが、ホストのように売上の半分が給料として返ってはこないのそこらへんが寂しいですねっ

だから下記に記した事に当てはまる方は働いてみたらいいんじゃないでしょうか！？

- ・売上を気にしないで接客がしたい。
  - ・気さくな職場で接客がしたい。
  - ・昼間の仕事より時給が高めで日払いさせてくれる仕事がしたい。
  - ・やっぱり給料は低くても女性と知り合える仕事がしたいっ (笑)
- などの方はチャレンジしてみても如何でしょう。夜の世界はやっぱり楽しいですよっ (\*^ー^\*)
- ただしサパーやメンズスナックなどの場合、男性客も多く来店なさいますのでご注意を。
- まあそれもまた楽しいんですけどねっ

## 付き合っではダメな男

キャバクラやホストで、『いつかはきつと！』と思いながら働いている人は現在どの位いるのでしょうか！？

そこそこまでは上り詰めてもトップに立てるのは全体の0・001%位でしょうか。

女性より男性の方が現実性の無い夢を追い掛ける傾向があるので後々大変かもしれませんね。

そして更に大変なのが、そういう男性を好きになって付き合っている彼女でしょう。

付き合った当初は普通の恋人同士のようにデートの時は彼氏が払ってくれていた、またはワリカンだったのが、一緒に暮らし始めたらワタシがデート代や食事代を払うようになった。水商売人には、よくある話です。

ダメホストやダメウェイターと付き合うと最初は上記の通りですが、段々と要求がエスカレートしていきます。

日々の小遣い（主にギャンブルに消える）の為に彼女は一生懸命水商売を頑張る羽目になる。

挙げ句の果てに適当だが信憑性のあるように聞こえる話でサラ金で金を借りさせる。よくある話です。

そしてサラ金で金を借りさせる事に一度成功すると、美味しい思いをまたしたいと更に借りさせるようになり彼女までが多重債務者の仲間入りをする羽目になるのです（><;）

当然普通の女性ならここまでいくと別れるのが常識ですが、水商売の男は女性の扱い方が上手いので言いくるまれてしまい更に頑張つて苦労する事になります。

男の方はさすがに反省してるだろうと思うでしょうが、相変わらずギャンブルしたり貰った小遣いで女遊びしていたりする始末です。

中には、もっと遊ぶ金が欲しいからと彼女を水商売を辞めさせて風



俗店で働かせるヤツもいます（ここまでいくと既に彼氏と呼べませんね…）

散々利用された後にやっと自分が理不尽な扱いをされてきた事に本当に気付き、別れようとするにあの手この手で引き止めようとし、駄目だと分かれると今度は脅しや暴力に訴えたりします。

それでも何とか別れる事に成功しても、こういう輩はその後もしつこく電話やメールでやり直そうと言ってきたり、ストーカーまがいの事をやってきたりします。

要はせっかく手に入れた金づるを手放して自分がどれだけ恵まれた生活をしてきたか気付いただけで愛情とは別次元です。

『ワタシの彼氏、水商売やってたんだけど今は働かないで家に居て小遣いやら生活費もワタシが出しててさあ。その内頑張るからって言うから今はワタシが頑張ってるんだあ。何かどうしても払わないとヤバい事があって〇〇万円必要なんだって頼まれたんだけど、どこの金融なら借りられるかなあ！？』というセリフに身に覚えがあったり知り合いに居るといふ人は痛い思いをする前に手を切るか助けてあげて下さいねっ

## 【目に見えない何か】

水商売に行き着き、水商売を長く生業としていく人間は、表面上は生活の為とか仕方なくなどと言いますが結局のところ水商売が好きだから続けている訳ですよ。

皆さん大なり小なりお酒又は酒の席は、好きでしょう。

いつでも好きな時に好みの女性と飲めるなら男性はキャバクラに高いお金を払って行きませよ！？

女性にしてもいつでも『ワタシの事を理解してくれて優しくしてくれる』と思わせてくれるイケメンの男性が身近に居てくれたら無理してホストクラブには行かないでしょう。

普通に暮らしていたら出会えないようなヒトと会いたい、そんな体験をしたいが為に人は不夜城の扉を開ける訳ですが、働く側も飲みに来る客も【目に見えない何か】を無意識か意識してかは別に期待しているから毎日がドキドキのドラマのような気分になれるんだと思います。

【目に見えない何か】は、人それぞれ：あえてそれを周りの人に口にする事は無いでしょう。あるとすれば、それはアナタがまだ若いという証拠です。

ある者は好みの異性を探しに、ある者は一攫千金を求め街灯に引き寄せられる夜の虫の如くネオンの灯りに導かれ今日も出勤・来店する…

普通の生活をしている人には余り有り得ない事が水商売の世界では極々普通に起こります。

僕の周りでもまだ大学生のキャバ嬢が知り合ったお客に5000万のマンションを自分名義で買ってもらい、客にバレないように売却して彼氏のホストとどこかへ消えちゃったり、現役のスポーツ選手と電撃婚して水商売から足を洗ったなんて話はよくあります。

勿論多くの方がお金が目的で水商売の門を叩く訳ですから、大金を

手にするチャンスは多く転がっています。

『そんなチャンス無いよ。あつたら教えるよっ』と思った方、チャンスを手握むには最低限の努力も必要になります。

順を追って説明すると、

その1：まずは水商売で働く。（当たり前すぎですねっ）

その2：真面目に働き、なおかつ店の従業員やお客に気に入られるよう気遣いを常に心掛ける。

その3：お客にしる共に働く従業員にしる本当に信用を勝ち得ると、お金を得るチャンスが降ってくる。

『ハアゝッ！？』と思いましたか！？それとも成る程と思いましたか！？

僕自身はこの方法で約600万程手に入れました。考え無しに使ってしまいました。が、この位なら僕が言った方法で後は考え次第で手に入れる事が出来ます。

もう少し詳しく言えば、『一見得にならない事をしておく』というのが大事ですね。

上記に記した事は、僕自身の経験からキャバクラの男子スタッフでもホストでも有効でした。

女性でも同じでしょう。これ以上はお話出来ませんが確かに水商売には【目に見えない何か】を手に入れるチャンスが多く転がっている事は間違いありませんよっ

## それぞれの店の最後…

2007年も残りわずかになりました。今年も新たな店舗が幾つもオープンし、決して少なくない数の店が消えていったことでしょう。水商売の世界で長い事働いていると自分が働いている店舗が潰れる（閉店する）場面に遭遇する事が、一般の会社に勤めているより遥かに高い確率であるでしょう。

閉店する理由は店ごとによって千差万別ですが、その店に愛着があった者にとって心にポツカリ穴があいてしまったかのような感覚に陥ると思います。

僕自身、働いていた店が閉店した事は幸いありませんでしたが辞めてから暫くして閉店した店は4店舗あります。

その内2店舗はキャバクラ、残りの2店舗はホストクラブ、メンズスナックでした。

キャバクラの2店舗が閉店した理由はどちらも従業員のやる気の低下でした。

ひとつは店内をシメるヤツが居なくなつた事による緊張感の喪失。もうひとつはオーナーのいい加減な経営による従業員の不信感でした。

この2店舗に共通して言えるのは、現場で働く女のコの信頼を経営者側（男子スタッフも含む）が失つた時、その店がそれまでどんなに順調な売上をキープしてきたとしても、その時点から崩壊の序曲が鳴り始めるのです。

どれだけ経営が順調でも決して胡座を掻いてはいけませんね。

ただし、だからといって過剰なやる気を煽る方法もまた従業員の志気を下げる原因になります。

僕が働いていたホストクラブは新規オープンで1から始まった店舗でした。

オーナーと店長による共同出資経営で、力関係的にはやはりオーナー

ーの方が上でした。

このオーナー…かなありアブない方で、修羅場をくぐり抜けた人なら分かると思いますが、目つきがヤバい方でした。

目つきが悪い訳ではありません。眼の奥に宿るモノが直感的にヤバいと感じさせるタイプなのです。

店に僕達ホストの様子を見に来る時には必ず明らかにその筋の方をボディガードのように引き連れ、イタリアから来日しましたみたいなど派手な格好で来ていました。

そうして営業が始まる前にオーナーが僕達にオーナーが客という設定で接客の審査をするのです。接客の仕方（会話、テーブルマナー等）に問題が無ければ、これといって何も言われたりしません、上手く接客出来ないといきなりキレます…（汗）  
テーブルもいきなり蹴り飛ばします…

そしてオーナーの小脇には本物の日本刀が置かれています…（

；）

僕の目の前で抜いた事はありませんでしたが、僕が店を辞めた後友達が目の前で抜かれ、『なあ拓哉あゝ試し切りさせてくれよ。』と言われ程なくしてその友達も店を辞めました。

こんなオーナーなので売上に対する圧力も凄まじく幹部もバツくれ、オープンから1年程であえなく閉店となりました。

オーナーの別経営のキャバクラはその時営業していたのですが、店長が経営していたキャバクラ2店舗が閉店していたので、とても世話になった方だった為寂しい気分になりました。

水商売は良い時期とどん底の時期が短期間で入れ替わるので、どこかでまた頑張っていて欲しいです。

最後にメンズスナックの場合は水商売歴十何年という店長がやっていたお店で常連さんも多かったのですが、僕も含め店長以外の従業員が定着しなかったのも原因のひとつですが、一番の原因は健康でした。

長年ホストとして毎日浴びるように飲酒した結果、内臓は既に限界

を超えボロボロになり、店の営業を断念せざるおえなくなったのです。

水商売で働く皆さんは誰でも多少内臓の不安はあるでしょう。

若さから余り気にしてないかもしれませんが肝臓は悪化するとその後更に悪くなる事はあっても良くなる事は無いので気をつけて下さいねっ

## 何故かツライ恋愛を繰り返すお水の女性達

水商売を生業とする女性には不思議と付き合ったらツライ思いをする、もしくは今より不幸になると分かっている男を好きになる傾向が強いような気がするのには僕だけでしょうか！？

アナタの周りにこんな女性は居ませんか！？

- ・とりあえずスーツ姿の男に弱い。
- ・内面より一番は見た目だ。
- ・危険な二オイのするタイプに弱い。
- ・好きになると冷静な判断が出来ず、周りの助言も聞かない。
- ・好きな男が自分の事より最優先。

上記に当てはまった方：確定的です。

徐々に徐々に不幸な目にあっている筈：

本人も自覚症状はあり友人に『実は彼氏に他に女が居るっぽいんだよね…』と相談したりはしますが、仮に友人が『ホントに！？絶対別れた方がいいよぉっ！！』

と言っても別れません。『ん〜、でも優しいし、ワタシが1番好きって言ってくれるしっ』『みたいな事言って結局ノロケかよっ！！』という感じで聞く耳持ちません。

こういう女性が別れる時は不幸に疲れた時に別の男を好きになった時でしょう。

しかし次の男もこれまたクセ者な事が殆どですが：

水商売の世界で働いている女性なら周りに上記のような友人が1人は周りにいらっしやるでしょう。

牧歌的で真面目で安定したサラリーマンより、女好きで水商売をしているが色々トラブって借金まみれの黒服を何故か選んでしまう：自分でも分かっているのにヤメられない。もうヤメようと思った時には周りからチャホヤされた二十代を過ぎ、微妙な妥協が入り始め気がつけば、『こんな筈じゃなかったのにっ！！』と嘆く毎日：

僕は、そんな女性をたくさん見て来ました。

『どうすればいいの！？』と思った方、どうにかしたいならまずは水商売を辞めて下さい。

そして飲みにも行かないで下さい。お酒が入った席での色恋には真の愛情は存在しないと僕は思っています。

あるのは欲望…酒は理性をかき消し本能を増大させるモノですから。今でも水商売時代の知り合いのコ達は、先に述べたような事を繰り返しています。

そして意味の無い相談、そして別れまた同じ事の繰り返し…たまに『コイツ不幸を快感に感じてるのか！？』と思う事がある程に。

そして水商売から離れ、夜の街に飲みに行かなくなったコ達は夜の世界以外の場所で知り合った彼氏と穏やかな生活を送っています。不幸やツライ恋愛に快感を覚える訳では無い女性なら、一度お水の世界から離れて幸せを探してみるのはいかがでしょうか！？

そう思っても中々離れられないのが水商売なんですけどねっ



## やり過ぎ注意報

クリスマスも過ぎ去り、もうすぐ2008年がやって参ります。僕が水商売の世界から完全に足を洗ってから2年弱：約6年程いろんな街で働いてみました。

23区内から23区外、埼玉県までキャバクラ・ホストクラブ・サパー・フイリピンパブetc…

良い事もあれば嫌な事も沢山あります。自分の肌に合わない店も沢山ありました。

不思議と自分の肌に合う店というのは、働き始めから居心地が良く波に乗って仕事が出来ることが多く反対に肌に合わない店は、何だか居心地が悪く内側から力が湧いてこない場合が殆どで、よく1日働いては『ここはダメだな。』と内心想い、『また明日お願いしますっ！』と言いながらバックレる事も多々ありました。

まだホストになりたての事、その店がオープンするまで1ヶ月あり、そこで仲良くなった同僚とツルんでオープンするまでの間他店に体験入店をによく行っていました。（体験入店すると日当が数千円貰えるので）

この時の経験が後に1日働いてその店を判断する契機になったのですが、やり過ぎると不味い事も起こるんですね。

僕が在籍していた店は山手線のとある街で、よく新宿に体験入店しに行っていました。

流れるに体験入店した後はきちんとその店に入店して新人として働くものなんですが、僕達の場合ちゃんと在籍している店が既にあるので『明日から宜しくお願いしますっ』と言いながら当然行かない訳です。

当時ホストになりたての僕達には、ホストの横の繋がりなど微塵も知らないので体験入店してはバックレを何度となく繰り返し1ヶ月が経過し、自分の在籍している店がオープンする日を迎えたのです。

ホストクラブのオープンというのは、ホストのお客も来店しますが、オーナーや店長の知人や友人がご挨拶に多数来店するんですねっ  
違う街のオーナーも挨拶に来店される訳です。

すると、やっぱり会っちゃうんですっ体験入店してバックレた店のオーナーに…

『ヤベエ…オーナーと仲良いのかよっバレたら殺されるっ!!』僕達はそう確信し、その体験入店先のオーナーが帰るまでなるべく顔が見えないよう死角になる席に行ったりしてハラハラドキドキしながらやり過ごした事を今でも覚えています。

それ以来体験入店荒らしは店に在籍している間はヤメました。

水商売の世界を渡り歩いていると、こういった『あっ!!』という会いたくない出会いをする事が予想もしてない場面で起こります。よくあるのが店のコと風紀してバックレた後や店の金に手をつけてバックレた後に、違う場所で働いていて捕まるケースです。

僕の友人も僕と会って目の前で5、6人の男に連れていかれた事もあり、その後1度メールがあつた後連絡が取れなくなりました。大丈夫だろうっバレないだろうっと何か後ろめたい事をした後、気楽にまた夜の世界で働いていると、ある日突然さらわれる事もあるので皆さん気をつけて下さいねっ

## お水な底辺の極限状態

水商売は格差社会：ブランド物に身を固め、大金を手にする者もいれば毎日食うにも困る極貧生活をしている者もいます。

かく言う僕自身も、ホストになりたての頃、そんな経験を周りの同僚と共にしたのを思い出します。

勤める店がまだオープンする日が未定で寮には入ったはいいが、オープンするまで暮らしていく金が無い…（泣）

『ちよつとも金無いの！？』と思われるかもしれませんが、水商売で面接してすぐ寮に入るような輩に金に余裕があるヤツなんて殆ど居ません。

持つていても雀の涙程度のもんです。

僕の場合、寮に入る前に勤めていたキャバクラで貰った給料を殆ど使い果たしギリギリの状況でした。

幸いに僕が在籍した店の店長が、キャバクラを2店舗経営していたのでそのキャバクラの客引きをすれば日払いをしてくれるという事でホッしました。

日当は5千円位だったと思いますが、無いよりマシですし僕の場合はキャバクラで働いていた時には毎日客引きに路上に出ていたので抵抗無く引き受けました。

可哀相だったのは客引き経験の無い同僚達でした。

今まで一度も男性客に声も掛けた事も無いヤツがいきなり上手い誘い文句を言える筈ありません。

しかもホストが目的で来たのにキャバクラの客引きなんて、やる気が出る訳も無く1日客引きして連れていけた客ゼロなんて当たり前でした。

僕もアドバイスはしましたが結局の所、客引きは本人のやる気次第なので引けないヤツはやっぱり引けないのです。

そのキャバクラでは客を連れて来れなくても日払いをさせてくれま

した。

僕の場合は客引きする以上、最低5組以上は連れていく気持ちでやっていましたし事実そうしてました。

けれどキャバクラの経験も客引きの経験も無い他の同僚は『連れて来れなくてもしょうがないよなっ』『位の感じで日払いしてもらってたんです。』

僕は内心コイツ等すげえ神経してるなっと思い、また同じ日当貰っててこっちは夕方過ぎから深夜まで必死に客引きしてるのにお前等は、どこで何してんの！？という気持ちでした。

まあ自分は自分と気持ちを切り替えてやればいいやと客引きしてましたが、やがて同僚達も客引き出来ないのに日払いだけ貰いに行つて、その店の店長に渋い顔をされる事が氣不味くなり、段々と1人減り2人減りしていき最後には僕1人だけになってしまいました。寮に居るヤツで客引きしているのは僕とオーナーのキャバクラの方で客引きしていたカズヤという同僚の2人だけになり寮も寂しくなりました。

そのカズヤの方の店は客引きゼロだと日当が無しなので顔を見ればゼロかどうか分かりました。同僚という事と同じ部屋で暮らす者同士として、金が無い時は松屋の牛丼やタバコをおごったりしてましたが、あんまり甘えられるとこっちも頭に来るので、『お前毎日俺に頼るけど、やる気出して客引きしてんの！？確かに俺も客引き出来ない日もあったけど1日あったかどうかだよ！！気合い入れてやればそんなに毎日ゼロなんて無い筈だろっ！！』日頃溜まっていた思いがおこつて貰えるのが当たり前みたいなカズヤの態度で爆発してしまいました。

僕は普段はめったにキレません。よほどナメた態度や理不尽な事が無い限り、そんな僕がいきなりキレたので、カズヤはびっくりしてその日から暫くは僕に頼らず客引き出来ない日は僕が寮に戻る前に布団にくるまり寝ていました。

暫くして流石に可哀相に思い、客引きが終わった後松屋に連れて行

ったりしましたが、ホストクラブのオープンする10日前から客引きで働けなくなってしまったのです。

理由は今でも分かりませんが、僕がキャバクラでマネージャーをしていた経験から店の営業方針に客引きさせてもらってる店の店長に意見していたのがいけなかったのかもしれない。

相手にしたらオーナーの命令で客引きさせてやってるのに、営業方針にまで口出すなと思われるのも仕方ない事ですから…

僕は日払いした金をマンガ喫茶に行ったり喫茶店に行ったり買い物などで殆ど使っていたので『さて、どうしよう…タバコすら買えないよ…』という状態にすぐになってしまいました。

カズヤも期待出来る訳もなく僕はマジで困り果てました。

とりあえずした事は街に出て道端に落ちているシケモクを拾う事。汚いと思われるでしょうが、僕は飯は2日位食わなくても我慢出来ました。タバコは無理ですっ！

タバコとコーヒー無しでは生きていけません（笑）

カズヤも同意見で僕達はシケモクを求め、なるべく人とすれ違わない場所中心に拾い集め、それを寮に持ち帰りフィルターの部分をハサミで3分の2近く切って吸っていました。

その他にも寮の冷蔵庫にあったいつからあったのか分からない怪しい冷凍イカを、これまたいつからあったか分からない調味料で味付けし『とりあえず火を通せば死にはしねえだろっ』と半ば強制的にポジティブに考え2人で食べたりしました。

他にもオープンまでの数日乗り切る為に色々しましたが、ここで書くのはちょっと…なので書くのは控えさせて頂きますm(u|u)

m

そんな経験から僕が食事にこだわりはありません。

好きな物があればそれにこした事はありませんが、無ければ別に小麦粉と少しの調味料だけで全然平気です。

僕はコレを【小麦粉ときとき】と呼んでよく金が無い時食べてましたが、一緒に暮らしていた彼女には不評でした（笑）

まあこんな経験は普通はないですし、する必要無いので皆さんには  
ピンと来ないかもしれませんが、人間、極限状態を経験すると多少  
の事は平気になるので今苦しんでいる人がもしもコレを見ていたら、  
それはアナタをタフにしてくれる経験なので頑張って下さいっ（＊  
^ | ^ ＊ ）

## 見栄をきり間違えたホストの末路【前編】

見栄をきる…水商売の世界では時には必要な行為ですが、見栄の切り方を間違えると自分のクビを絞める事になります。

新人ホストにはありがちな事なんですが、仲間内で他のヤツより優位な立場にいたいと思い見栄を張ってしまう…

これは前回書いた話に登場したカズヤの例です。

僕とは違いカズヤは僕達と会う前からホストをしていました。

ホスト未経験の僕達は店がオープンするまでの間に、なんとか1からお客を見つけないければならない為に昼間から夕方の間、私服で店の仲間達とナンパを装って女のコ達に声を掛けていました。

ナンパに成功して仲良くなったはいいがホストだとは言えずに『またねっ』とメアドだけ聞いてサヨナラしていました。

当時はまだテレビでホストの事を報じたりはしていませんでした、イメージも今より悪く言いくいつたらありませんでした（-.-;）そんな事を毎日やっていたのですが、カズヤはというと仲間と行動は共にするのですが、ナンパには参加せず後ろの方で僕等の行動を半笑いで傍観しているだけでナンパには加わりませんでした。

『あゝっ今日も声掛けたコ達とカラオケには行っただけど、結局ホストだつて言えなかったなあ…』

日に日にホストクラブのオープンが迫る中、僕等の中でお客になってくれるコを獲得したヤツはゼロでした。（テ―テ）

そんな時、少し後ろを歩いているカズヤは自慢気に、『俺は前の店のお客が居るから平気だけだねっ』と僕等全員に向けて語り始めるので、羨ましい気持ち半分ムカつき半分でとりあえず知り合つて間もないから聞いていました。

カズヤの自慢話はオープンが迫るにつれ、どんどんエスカレートしていき外でも寮の部屋に居る時も事あるごとに始まるようになり、そうとうウザい存在になっていました…（-”-;）

ただウザいながらもカズヤは僕が店に入店して最初に知り合ったヤツでこの後、寮に居た他の仲間達が消えてゆく中寮で2人きりになる事も多く、邪険には出来なかったので、自慢話をされては『ヘエ、いいなあっ』などと言って持ち上げてやっていました。

オープンまで一週間、この頃になると夜オープン予定の店舗にホスト達が集められ連日色々なミーティングが経営者兼店長のもと行われ始め、コールやボトルの栓抜き練習から接客のイロハを勉強していき、オープン3日前：もうすぐオープンという中でみんなのテンションもかなり上がっていました。

そしてその日のミーティングも終わりに近づきオーナーと店長から締め言葉を頂いて解散という時に、オーナーが店長に何やら耳元で囁いています。

オーナーの話を店長が聞き終わった後、店長が僕等に向かって話し始めました。

『今、オーナーから知りたいんだけど言われたんだが、この中でオープン当日にお客が来てくれる事が決定しているヤツは手を上げてくれるか。』

その瞬間その場の空気は重たくなり皆、ホスト同士お互いの顔を見やりました。

少しの沈黙の後、手を上げたのは2、3人だったと思います。

『ホストつてもっと客持つてるでしょ！？』と思われるでしょうが、僕がその時入店した店は現在では殆どありませんが本当に未経験のホストばかりで経験者だというヤツは40人中5人だけでした。

そして客が来てくれるヤツは2、3人…

それを聞いた店長やオーナーは暫く無言の後でオーナーがポツリと駄目だなこりゃあ…』

その場に張り詰めた空気が立ちこめ、皆無言のまま固まっていると…

『ガシヤアアア…ンツッ！！！！』

突然の轟音にビックリして音のした方を見やると、店長が無言で腕組みをしながらセッティングがしてあった目の前のテーブルを蹴り



倒した姿だったので、『ヤベエ…普段温厚で優しい店長がマジでキ  
してる…』と思いいこの後どうなるのか気が気ではありませんでした。  
【後編へ続く。】

## 見栄をきり間違えたホストの末路【中編】

店長は膝に手をつき、少し前のめりになりながら、『テメエ等ホスト舐めてんのかあっ！！このままじゃあ店がオープンしたつてすぐ潰れるよ！！ここでホストやりてえなら死ぬ気でやれや！！出来ねえなら今すぐ辞めろっ！！！！』

僕等は事の重大さにオープン直前になってやっと気付き、互いの顔も見れないまま凍りついていると、『どうすんだよ！！やるのかやらねーのかはつきり言えやつ！！！！』

店長のその言葉で一同全員が『やります！！やらせて下さいっ！！』と腹から声を出し答え皆、立って店長やオーナーに頭を下げて頼みました。

今更ながら思った事は、きつと店長はキレたら人を殺しそうなオーナーがキレる前に自分がキレる事である意味僕等の事を守ってくれたんじゃないかと店長に色々と面倒を見てもらった自分は勝手にそう思っています。

『お前等今日から3日間、寝ないで客掴まえる！！掴まえられるまでミーティングには出なくていいっ分かったなあっ！！分かったら今からキャッチ行つてこい！！』

僕等は店長に言われるままに夜の街へと蝙蝠のように散りました。

大体仲のいいホスト数人づつに分かれ、お客争奪戦が始まったのです。

僕は、忍と春樹と冬夜<sup>ヤウ</sup>という最近寮に入って仲良くなったヤツらと連んでキャッチを始めようとしたのですが、なかなか最初の一発目が掛けられない…

スーツ姿でのキャッチがホストですよって言っ歩いてみたいで嫌だったのと4人共に未経験者だったので自ずとリーダーシップをとってくれるヤツが居らず何だかんだとブラブラしながら闇雲に時間だけが過ぎていきました…（T—T）

そうこうしてる間に他店のホスト達もキャッチに出て来て益々バ  
い状況に陥り出し、『マズいっつ…』と思つた僕は思わずみんなに、  
『居酒屋行かない！？』と半笑いで言つてしまいました。

半分現実逃避です（笑）キャバクラ時代にスカウトが上手いかな  
い時の癖がとっさに出てしまい、『まずっ！！さっき店で店長にキ  
レられて死ぬ気でやるって言つた後じゃん。みんなふざけてる場合  
じゃねーだろっ！！』ってキレるよな…』

そう言つた事を後悔し、そつとみんなの顔を見やると『行つちやい  
ますかっ』と3人共少しエロおやじのような顔で答え、『あつな  
んかコイツ等と末永く上手くやっていけそうっ』と同じ匂いを感じ  
じその日は結局朝まで居酒屋でクダ撒いてましたっ（-o-;）

見栄をきり間違えたホストの末路【後編】（前書き）

後編だけ長くなり過ぎてしまいました。読んで頂ている皆さん申し訳ありません（<―>）

## 見栄をきり間違えたホストの末路【後編】

なんと僕達は次の日もマンガ喫茶のナイトパックで朝までキャッチの時間、マンガを読み続けとうとうオープンまでラスト1日…（

；）！

きつと俺らみんな絶対夏休みの宿題31日までやらないヤツの集まりだな…と軽くそんな事を考えながら半分以上諦めモードで明日までに寮パッケようかなと1人寮の部屋で考えていると、常に施錠してないドアが開け放たれ、『おはよーございま〜すっ 今日こそ頑張りますかあっ』と言いながら忍達が入って来た時、『ああ、俺よりお気楽バカが居て良かった』と心底思い元気を貰いました。  
\*余談ですが、忍達とは同期ですが年が僕が他の3人より3つ上だったのと、入店日が若干早かった為に敬語で接してくれましたっ（

#^-^-#）

そんな3人を見て少しやる気が出た僕は4人でオープン前、最後のキャッチに乗り出しましたっ！

大きな街なので平日だろうが街ゆく人はウジャウジャいます。いつもならアレはウザそう、こっちはキツそう…などと能書きをタレて動かないおバカ4人組ですが、今日ばかりはやらなきゃ明日我が身がどうなるのかマジで分からないので出だしから皆、軽い身のこなしでぎこちない也に声を掛けます。

キャッチを始めてから2時間…まだ成功はしてはいませんでした、声を掛けるという行為が皆に自信を湧き上がらせ必ず成功するような雰囲気は滲み出ていました。

そしてそれから僅か30分後、忍と春樹が声を掛けた2人組の女の子達と意気投合しオープン日には無理だが違う日に来店してくれる事になったのです。

僕は少し離れた所で細道の方を静かに見つめていました。

その方向には何店舗か風俗店があったので、もしかしたらと思い女

性が歩いて来るのを待ちました。

すると細道から白いパンツを履いた女性が歩いて来たので、『コレは逃せないっ！』と思った瞬間既に僕は動き女性になるべく自然体で話し掛けた。

声を掛けた瞬間はビックリしてましたが話しているうちに盛り上がり、お店のオープン日に来店してくれる事になり、よゐこ浜口バリに『とつたどおーっ！』と叫びたい程気分が良かったのと、ホッとしたのを覚えています。この後成果は上がりませんでした、僕等は意気揚々と寮に引き上げ祝杯をあげようと歩いていると、駅前の超有名公園を見覚えのある男がウロウロしていました。

カズヤです。『アイツ1人で何やってんだ！？』と訝しがり様子を見てみると、女性がカズヤの近くを通るとアタフタしながら女性に近づこうとし、女性が歩いて行ってしまうとガクツとうなだれ、また女性が通るとアタフタ：そしてうなだれを繰り返していました。

『アレ！？アイツ、客いる筈なのになんでキャッチしてんだ！？』少しの間考え、忍達を見やりました。

『ひよつとしたらカズヤさん、あんなに自慢してたけど客なんていないんじゃないですかあゝっ』

忍の悪意のこもった一言に一同にんまりとエロい顔をし、『ザマアミロだなっ』

『アホっすねっ』

言いたい放題カズヤの文句が吹き出しました。

散々客と食事だデートだグッチのスーツ買ってもらうだ自慢してたのが全部フカシだと分かり、最初は可笑しかったのが段々怒りがこみ上げ出し、軽くぶっ飛ばしたくなりました。

嘘の自慢話を聞かされた時間を返せと！！：

僕等はカズヤの死角からそつと近づき『よおっ何してんの！？』と、わざとらしく声を掛けました。

カズヤは本気でビックリした様子で、軽くオウっと言ったつきりだんまりでした。

僕は笑いを堪えながら、『どしたの！？落とし物でもしたの！？』と尋ね、カズヤの出方を待ちました。

『んっ！？いや、ここで客の女と待ち合わせしてんだけどちょっと遅れるみたいで待つてんだよねっ』

それを聞いた僕はこめかみがピクピクし、一瞬阿修羅面怒りになりそうなのをググツと堪え、もう少しだけこの茶番に付き合つてやろうと

『へえっっそうなんだっいいねえっっ』

と合わせてやると、客なんていないのバレバレなのに、この期に及んでまたもや嘘自慢が始まったのです…（；）

『今日どうしても会いたいつていうからわざわざ待つてやってんのに自分が遅れるってどうよ！？何か買わせねえとワリ合わねえよおっ』

へえっ〜と聞きながら何か頭にきすぎて軽く意識が飛びそうでしたが、忍達の過剰なヨイシヨで我を取り戻し、もう少しだけ付き合つてやるよっ！！と笑顔で聞いていると、

『明日は何のボトル入れさせようかなあっ　レミーでも入れてもらおっかなあっ』

もっうおダメッ！！我慢の限界を一瞬で超えた僕はいきなりカズヤに向かつてメンチを切り、軽く複式呼吸でキレました。

『お前さあっ俺ら隠れて公園でお前の行動ちよっくら見てたけどよ。ずつとキャッチしてたべ！？客と待ち合わせしてるヤツが何でキャッチしてんだよっ！！ああっっ嘘ばっか言つてんじゃねえぞダメエッ！！！！』

いきなり確信を突かれたのとキレられたのでカズヤは後ろにのけぞり、つぶらな目を目一杯広げて固まりました。

そんな姿を見ても僕の怒りは収まる筈もなく続け様に怒りをぶつけまくりです。

『大体ダメエ、客にいろんなモン買つて貰うつってけど一度も言つてた物持つて帰つてねえじゃねえかよおっ！！』

そして更に、

『客いるなら俺におごってもらわなくても飯代やらタバコ代位どうにでもなんじゃねえの！？違うかあっ』

ちよっぴりヒートアップしてしまい公園内が微妙な空気になってしまいました。が、ここまで言われてもカズヤは『相手の都合が合わないくて…』やら『貰ったりするけど、いつもじゃないから…』とのたまうので襟首を掴み上げ

『テメエ、明日客来なかつたら覚えとけよ…』

と凄むと、カズヤはいきなり態度を180度変え、ただひたすら謝り続けたのです。（注：僕は普段本当に殆どキレません。ただこの時のカズヤにはいきなりキレさせるだけのモノが有り余るくらいありましたm(u|u)m）

この一件以来カズヤの立場はオオカミ少年のようになり、後輩にもナメられ、当然客も呼べなければヘルプも出来ず、拳げ句の果てに寮の仲間の荷物を持ち逃げしたのです。

当然僕等はカズヤの居場所を突き止め、新宿まで行きマックに上手い事言っって呼び出し、持ち逃げされたヤツとカズヤのやり取りを斜め後ろの席からバリューセットを食べつつ見させて頂きましたが、この後、カズヤには何度も僕等の復讐が待ち受けている訳ですが、ここではちよっと…なので書くのは控えますm(u|u)m

ホストの世界では、こういう見栄の切り方は百害はあっても得になる事は全く無いので新人ホストの皆さんは気をつけて下さいねっ



## 末永いお付き合いが出来る店

新年明けましておめでとうございます

水商売の世界でも元旦というのは殆どのお店が休みになります。

男子スタッフにとつては年に何度かしかない連休：僕の場合、キャバクラで働いていた頃正月休みに何をしていたかというところ、結局キャバクラに行ってしまったんですね。

まあ半分先輩の接待でしたが、元日に営業しているキャバクラ：思い出すのはおめでたい日なのに、何故か店もお客も垢抜けない。お店で働く女のコ達も当然少なくテーブルについた女のコ達は、『元日なのに何でワタシ働いてるんだろ…』という思いが見えていることにひしひしと伝わってきます。

こつちもこつちで何で元日からキャバクラ来てんだよと、来店しておいて酒を飲みながら思っている始末…

当然お互いこんなじゃ楽しい筈もなく飲んでるのに余計に酔いが覚めたのを覚えています。

キャバクラに勤めている男子スタッフでキャバクラに飲みに行く者は、2つのタイプに分かれます。

休みの日には殆どキャバクラに飲みに行き、キャバクラの裏も表も知り尽くしているのにキャバ嬢を指名している真性のキャバクラ好きと、他店のキャバクラの良い所悪い所を自分の店と比べ研究しているタイプです。

前者はキャバクラで働いた給料をキャバクラで浪費し、後者は自己の向上の為、店の向上の為給料を使います。当然、従業員として前者と後者には明確な差があり、後者が多い店は大概活気があり店の女のコ達もやる気があります。

問題は前者が多い店で、仮に店長以外みんなが前者だとその店は長くは保たないでしょう…

『それがどうしたの！？』と思われた方、どうもしないんですm（

――m

ただ貴方の飲みに行っている店が前者の店か、後者の店かで長い付き合いになるか短い付き合いになるかだけです。

働く女の口にとっては、未永く働ける店かいつ潰れるか分からない店かというだけです。

ただお客様にとっても働く女の口にとっても長く付き合いえる店の方がいいに決まっていますよね！？

キャバクラ激戦区ではない地域なら生き残れる事もありますが、激戦区ではほぼ100%消え去ります。

『まあそうだよなあゝつでも客には、そんな事分からないし……』と思った方、潰れない店は店内が満席なのは当たり前ですが、店長が常に第一線で動いています。

店長の動きを見れば、『ああ、この店は長く付き合いえるな。』と分かる訳です。

それと雨の日、外看板がマメに拭かれて綺麗になっているかどうかで店のレベルが計れるので、新しく飲みに行くキャバクラを探す時に、雨が降っていたらネオン輝く外看板を見て回って下さい

ひととき綺麗にしてあるキャバクラがあったら、その店は貴方を満足させてくれる店に間違いありません

ウェ이터ってどうよ！？

キャバクラに飲みに行っている方々の中には、一度働いてみたいな  
と思われている方もいると思います。

水商売に興味があるんだけどまだちょっと踏み込めない…という方  
もおられるでしょう。

ウェ이터ってどうなんだろう！？…と。

給料はいいけど仕事はキツくないのかな！？等気になる事を挙げた  
らキリが無いと思います。

そういう人に分かり易く新人ウェ이터の仕事を僕の経験に基づい  
て説明したいと思います。

新人ウェ이터が、まず最初に覚える事…店によって違いますが、  
接客用語ではないでしょうか。

『いらつしやいませ』

『ありがとうございます』

など、お客様に失礼のない言葉使いをまずは覚え、次に店内・店外  
清掃でしょう。

『掃除なんて楽じゃん』と考えたアナタ…キャバクラの掃除は  
かなりキツイです…（-o-;）

店の規模や指導する先輩によつてはウェ이터業務をする前に掃除  
だけでヘロヘロになってしまう程に。

面接に行った時に店内を見渡して、カガミ張りの面積が多かったり  
光るモノが多い店は当然掃除もキツくなるので、チェックしとくと  
良いでしょう。掃除を覚えたら次はお店の1日の流れを先輩に付い  
て見て回り、その後自分が先輩の真似をする訳ですがこの辺までは  
問題無くスムーズにいくと思います。

そして働く店が繁盛店でなければ、その後も大した失敗も無く働い  
ていけるでしょうっ（^-^）

問題はアナタが選んだ店が繁盛店だった場合…そして店長がイケイ

ケだった場合、多分過酷なウェイター生活がスタートする筈。

僕が初めて水商売の世界で働いたキャバクラの店長は、絵に描いたイケイケ店長でした…（-o-;）

見た目もですが、とてもせっかちで短期で喧嘩っばい人で、いろんな意味で凄かったです。

『ウェイター業務は実際に店がオープンしてから実戦で覚える』という店長でしたから、オープンまで2週間あったのに何も教えてもらえはせず、オープンしてから地獄の忙しさの中で覚えさせられました。

毎日掃除や在庫管理その他諸々…何時に仕事が終わるのか分からず、1日15〜16時間労働で休み無し…

2ヶ月で体重が20キロ落ちたのですから今考えても恐ろしいです

…（T-T）

働くならちゃんと定休日があるお店を選びましょう。

そして繁盛店よりも、これから伸びていきそうなお店の方が体も徐々に慣れていけるので、下見してみるのが良いと思います。

そして営業時間なるべく短いお店。

キャバクラは勤務時間が只でさえ長いのに、残業代なんて無いので時間もチェックしてからお店を選びましょう。

キャバクラは働きによって基本給が一年で10万上がるので（店によりますが）頑張ってみる価値はあると思いますよっ

## 正月明けのよくある問題

お久しぶりですっ 正月、色々と忙しく執筆が滞ってしまいました  
m(u|u)m

街もすっかり正月気分も抜けていつも通りの日常に戻った感じです。  
正月明けというのは、とかく仕事に対する気が抜けがちですが、水  
商売でも同じ事が言えます。

よくあるのが新年からお店に出勤してこないというケース。

正月休みですっかりやる気が失せ、お店での嫌な記憶も相まって行  
きたくなり、『最初は1日だけ休んじゃおっ』という軽い気  
持ちから始まって結果バツクレしてしまう…

経験ある人もおられるでしょう。

そういう僕も勿論ありますっ サパーに勤めていた時の話ですが、  
仕事も上手くいっていたし従業員の仲も良く、不満は給料が安いく  
らいで特になかったのですが正月休み中、彼女と遊んでいる内にや  
る気がすっかり失せ結局1日も出る事無く辞めてしまいました(泣)  
まあ給料安かったので後悔はしていませんが、その他にも正月明け  
というのは色々な事が起こり易いのです。

これはある街の水商売を手広くやる会社の話ですが、2年程前の年  
末近い時期にスナックの若いママが、従業員の若い男とバツクレて  
しまい急遽新たなお店をオープンさせる事になりました。

新しいお店のコンセプトは「美味しい料理をメインとした居酒屋系  
スナック」で、店長には調理師免許を持つ中年男性が抜擢されまし  
た。

その男性はあくまで料理人であって水商売の経験は無いので、女性  
スタッフがホローする体制でオープンしました。

オープンして暫くは料理も美味しく低料金で可愛い女のコも居るの  
で、そこそこ繁盛していたのですが徐々に雲行きが怪しくなってい  
きました。

ケチで有名なオーナーが経費削減の為、従業員を増やそうとせず、その男性とウェイトレス兼接客の女のコの計2人だけで営業していたのです。

料理が出来るのは当然その男性だけですから昼から明け方まで、買い出し・仕込み・調理・片付けと毎日こなさなければならず、新しい従業員が増える兆しありませんでした。

従業員の女のコが男性を気遣い大丈夫ですか！？と聞くと、『大丈夫大丈夫』と笑顔で答えていたそうですが、正月も明けて新年初めての営業日。

夕方過ぎにお店に女のコが出勤すると、いつもはもう開いている筈のシャッターが閉まっていました。

『あれっ！？変だなあ…』と女のコが男性に電話してみたのですが、電源が切れていて連絡が取れず、仕方なく系列店のスタッフに連絡すると…

『ああ実は、〇〇さん店の金持って消えちゃってさあ…家にも行っただけけど荷物も無くて今探してるんだよね。』

女のコはいろんな意味でビックリし、その日は帰宅する事になったのです。

まあ端から見ても長くは保たない感じですが、経費をケチったオーナーは結果、ひと月分の売上を持ち逃げされて大損する事になりました。

年末年始は色々トラブルが起こり易いので皆さんご注意をm(u

l u) m

## 新成人の大失敗

今日は成人の日ですねっ

今年も今日の夜から朝方にかけて羽目を外した新成人達が、繁華街にわんさか群がることでしょう。

成人式など当事者にとっては、『これからは大人として恥ずかしくない行動をっ！』なんて考える筈も無く、『わぁ〜い 堂々と酒が飲めるっ』など自分に都合の良い事ばかり考えるモノです。

成人の日には、当然キャバクラにも新たに成人した新成人達が真新しいスーツ姿で少し照れながら来店します。

『いらっしやいませ！』と言いながら、内心キャバクラ来るよりナンパ行けよっ（笑）と思いつつ笑顔でテーブルに案内し、ぱぱっとシステムを説明する訳ですが、成人して初めて来たキャバクラでやっちゃうヤツが必ず居ます。若いヤツ程、酒が強い事がエライかのような勘違いをしてしまいがちで、限界を超えているにも関わらず無理して飲み続ける事が多々あります。

よくあるパターンが初めて来たキャバクラで店の女のコを好きになり、良いところを見せようとしてガンガン飲むヤツです。

『わぁ お酒強いねっ』

なんて好きになったキャバ嬢に言われて、『俺っ酒強いからさっ』なんて調子乗って更にガンガン飲む姿を横目で見ながら、『そのコ、俺と付き合っただけだねっ』と、軽く優越感に浸りながらまだまだ青い新成人を見てたりしましたっ（笑）

新成人達が来店してから2時間程経過した頃、僕の付き合ってたキャバ嬢に惚れた、ひときはしゃいでた新成人がいきなり下を向いて無言になり、顔色も心なしに青白く見えました。

僕はそのテーブルから2、3メートル離れた場所から見ているとテーブルの女のコ達がザワザワしだし、異様な雰囲気伝わってきたので近くに行こうとした時に1人のコが、

『すいませえ〜んっバケツ下さあ〜い！お客さんが吐きそうだったっ！』

マジかよっ！？僕は急いで掃除用具入れの中からバケツを取り出し、そのテーブルに向かった瞬間、青白くなった新成人がムクツと立ち上がり下を向いたかと思ったその時、眼下のテーブル目掛けてナイアガラのようなゲロを発射したのですっ（；）！！

一瞬にして楽しい筈のテーブルが、スプラッター映画のワンシーンと化し、吐いた新成人はトイレに1時間以上閉じこもっていたのです…

そいつ等が帰った後、ゲロの後始末をしながら、『絶対出禁だっ！』とキレていましたが、次の日ゲロを吐いた新成人が友達と2人で菓子折りを持って謝りに来たので、意外に礼儀正しいヤツだなぁっと思い、『またいらして下さいねっ』と笑顔で言っと、ホッとした表情を浮かべて帰っていききました。

すると次の日、本当に飲みに来店しに来たので、『若いって強いな…』としみじみ思いました（汗）



## バレンタインデーそしてホワイトデー…

もう少しするとバレンタインデーがやってきます。

キャバクラの3大イベントのひとつですから、お店の方も色々な企画を考えているでしょうし、キャバクラに目当ての女のコが居る方々は、2月に入るとソワソワしだしてくるでしょう…

お店で働いている女のコ達は、2パターンに分かれると思います。

売れっ子のキャバ嬢ならその日の為に入念な営業（自然な感じを装いつつ）を行い、客のレベルによって買い分けたチヨコを紙袋に詰め予めチヨコは店に用意しておいて同伴出勤でもして来るでしょうし、お客が余り呼べない女のコ達は、『あゝっヘルプかったるいなあ…』と思いながら、その日を耐え忍ぶことでしょう。

キャバクラで男子スタッフとして働いていた身としては、『バレンタインデーにキャバクラ来てチヨコ貰って嬉しいの！？』という感じでしたが、チヨコを貰っているお客を観察してみると、照れくさそうにしながらも笑顔で受け取っている方が多いので、『ああ、やっぱり嬉しいんだ…』と、ちょっぴりキャバクラのバレンタインデーの裏側を知っているだけに切なくなりました…（泣）

お客にとってバレンタインデーが終わると翌月、恐怖のホワイトデーがやってきます。

バレンタインのお返しに高級ブランド物を客にねだる女のコ達をいったいどれだけ見てきたことか…（\*´、´）

そしてそれに応える為に、余りリッチではないお客が食費すらも切り詰め何とか要求されたブランド物のバッグを買って女のコにプレゼントしても、しばらくすると質屋に売られ、貰った客にバレないように同じバッグの偽物をネットオークションで買っておく…そんな事を沢山見してきました（-o-;）

もしキャバクラの目当ての女のコにブランド物をねだられたら、『あゝきつと買ってあげても少ししたら質屋に売られるんだろぅな

あゝ』と、ある程度覚悟しておきましょう。

そのコがバッグをずっと持っていたとしても、違うお客に同じバッグをおねだりしている事もよくあるパターンなので余り安心出来ません。

キヤバ嬢に本気になって生活苦に陥り、行方が分からなくなった人達を色々見てきたので余りのめり込まないようにしておきましょう。中には目当ての女のコと結婚したという人達もいますが、そういう人達は大概遊び慣れた人なので、客観的にお人好しで受け身の方はカモられ易いので十分注意して下さいねっ

人間、本当に愛しい人には別にブランド物でなく何を貰っても嬉しいものですから。

という訳ですので、バレンタインデーにはご注意をっ（・ - ハ\*）

史上最悪のトイレ掃除…（前書き）

食事時には読まないで下さい m ( u \_ u ) m

## 史上最悪のトイレ掃除：

前々回、新成人の失敗を書きましたが何も新成人だけが夜のお店で失敗する訳ではありません。

老若男女を問わず酒と異性が存在する場では、誰もがひとつは『あちゃーっつ』と思う経験があるものです。

僕自身も店の先輩や同僚と飲みに行き、飲み比べで記憶が無くなり、気付くと勤務先の店の前に車ごと置き去りにされオーナーに発見され気まずい思いをした事があります（その時、飲み比べをした先輩も違う場所で車の中でドア開けっ放しで半分死んでました…笑）まあその位ならかわいいものですが、中には洒落で済ませられないようなデンジャラスなケースに出くわす事も飲み屋の世界では、たまにあります。

これは僕が池袋の大型店舗で働いていた時の話です。僕はキャバクラの従業員を辞めてホストを半年程した後、またキャバクラで働くうと思いい老舗の店で働く事になりました。

半年のブランクはあっても体は覚えているもので、ウェイター業務をこなす事は簡単でした。

『これなら全然大丈夫だなっ』と気分良く仕事をしていました。フロアを観察してみると、接客している女性は全体的に年齢層が高く、中には還暦を迎えていそうな人や、『んっ！？オカマ？？』と考える人までいて、かなり個性的で必然的にお客さんも年齢層が高めでした。

トイレの通路の近くにキッチンからフードが出てくるカウンターがあり、休憩をもらった僕はそこでタバコを吸いながら厨房の人と談笑していると、トイレの方から60歳位の黒縁メガネを掛けた会社では部長クラスといった出で立ちの方が突然僕の目の前にヌツと現れ、『オイ、お前ちよつと来い！！』と僕のYシャツの袖を持って歩き出したので、『んっ！？俺、何かしたか！？』と訝しがりなが

らつていくと、そこは通路の奥にある男子トイレ…

『なんだ！？』と思つた瞬間トイレ中に充満する異臭！！

しばらく固まつていた僕の肩を男性はポンと叩き僕の手には五千円札を握らせ、『後は頼んだぞ！』と言つて手前から二番目の大便器の扉を指差しトイレから去つていったのです。

僕は男性を見送つた後、恐る恐るその扉を開くとそこには、恐ろしいくらいに飛び散つた○ンコと、おそらく脱いでいる最中に漏らしたであろう悲惨な状態のトランク스가脱ぎ捨てられていました…

『マジかよっつ！！どうやったらこんなになるんだよっ！！！』

本気でこのままにして店をバツクレとなりました…（-|-#）  
しかし金を稼がないとヤバイ状態だったので、嫌々トイレを暫く使用禁止にしてビニール手袋を着用し史上最悪のトイレ掃除を行ったのです…（泣）

掃除が終わり、疲れきつて戻ろうとすると1人のフロアレディーの女性がこつちに来て僕に『ごめんなさいね。』と謝つてきたので、意味が分からずにいると、『あのヒト、トイレで漏らしちゃったんですよ。たまに飲みに来るといつもそうなのっ』

そう言つて女性はフロアに戻っていき、僕は、『漏らすの分かつてんならそう言つとけ！！』つていうかパンパース履かせとけっつ！！

！』と怒りが溢れ出し、程なくしてその店を辞めました。

飲んだら絶対何かしてしまう方々には是非とも自宅以外では呑まないで欲しいものです…（-”-；）

## 水商売を例えるなら…

ふと水商売の世界を離れ、派遣アルバイトなどで働いてみると、なかなかどうして色々な人々に出会えます。

中には以前は会社の社長さんだった人やそのスジの方まで…

裏世界の人々と出会い易いのは、学生達が群がる大手派遣会社ではなく、どちらかというとガテン系で女性が殆ど来ない派遣会社でしょう。

形態も派遣というより請負に属する会社です。

その中には、僕のように水商売経験者がちらほらいたりしました。僕のようにいろんな水商売を渡り歩いた人はいませんでした。ただ求人広告にホストの募集など皆無な時代にホストをやっていた人などがいたりして面白い話も聞けたりしてなかなか楽しめました。

僕のように水商売をやって、少しの間昼の仕事をしてもた夜の仕事に戻ってを繰り返したりする人は少ないでしょう。

大概、水商売を渡り歩くか一度離れたらもう戻らないのが普通です。何故、一度離れた世界にまた戻ってしまうのか…

やっぱり色々とツライ事も多いのですが、楽しい事や旨味も多いから戻ってしまうんですねっ

ある意味水商売はギャンブルに似た感覚なのだと思います。

毎日その日1日が終わってみるまで何が起こるか分からないドキドキ感、ある出会いから一気に幸運や金を手にするなんとも言えない高揚感…頭の中で絶えず脳内麻薬が分泌されているのが自分でもよく分かるくらいに毎日が刺激的でした。

『そんなに好きなら戻ればいいじゃん』とお思いの方、確かに水商売は楽しいですが僕にとって水商売は20代半ばまでの仕事だと色々やってきて思いました。

それに、結婚を考えている者は水商売に飛び込んだり戻ったりしない方が絶対に良いというのが、周りの人々を見てきた僕の率直な感

想です。

水商売には絶えず異性の影がつきまといます。

人間の欲望がストリートに表れる仕事なので、現在本気で恋人と結婚を考えている人は自分が働いているにしろ相手が働いているにしろ、水商売の世界から足を洗わないと結婚しても将来、後悔する結果になり易いので、その辺をよく考えて相手と話合ってみてはいかがでしょうか

いきなりされる理不尽な要求…（- &quot; o t ; - ;）

キャバクラで盛大に行うイベントにフロアレディーのバースデーがあります。

当然、フロアレディーの多い店ではバースデーのイベントも必然的に多くなりますし、売上上位のフロアレディーのバースデーともなると色んな用意が必要になってきます。

お客も女のコの為にプレゼントや店に飾る花を用意し、店側も入口や玄関前に飾る花やケーキ、男子スタッフで用意したプレゼントを渡したりと色々面倒だったりします…（- . . - ;）

だいたい男子スタッフが女のコにプレゼントする物は、無難にタバコ・カートンだったりする事が多いですね。

大変だったりするのが、急に来店する事になった指名客のバースデー！。

開店間際になって急に女のコにお客用のバースデーケーキを用意してくれと言われ、街中のケーキ屋さんを走り回ってやっと用意した後で、その女のコから、『もうちょつと見栄えのいいケーキが良かったなあゝっ』なんて言われて軽く殺意が湧いた記憶があります…

（- -” - ;）

というように、キャバクラで働いていると時折、『何言ってるの！？アンタッ』と思うような要求を、いきなり言われる事が、決して少なくありません。

普段温厚な僕もそんな理不尽な要求にたまにキレたりしました。

例えば、たまたま店に用意してあった生ビールと瓶ビールが営業中切れてしまい、時間も夜中の1時過ぎで酒屋も閉まっていた為、お客さん達には頭を下げてビールを諦めてもらっていたのに、1人の女のコが指名客が来ていて気持ち良く酔っていたのか散々他のテーブルでビールが無くて頭を下げている僕の姿を見ている筈なのに、『ビールちょうだいっ』と言ってきたので、頭の中で『だから無



「いつつてんだろっ！！」とイライラしながらも笑顔で申し訳ありませんと再度説明すると、『ビール無いなんてイヤっ！！無いなら系列店から借りるか買ってくればいいじゃんっ！！』

『そんなん分かってるわボケエっっ！！どっちも駄目だから頭下げてんだろっがあっ！！』と心の中で鈍い女のコにキレ、『それがどちらもダメでして、申し訳ありませんっ』とこめかみがピクピクしながら説明し直したのです。

『ビールならコンビニで買ってくればいいじゃんっ』と思われた方確かにそうなんです、僕の働いていた店はかなり栄えた繁華街で水商売の店が多く、そういう場所では深夜までやっている酒屋さんが何店舗か必ずあります。

そういう場所では近くのコンビニは酒類販売の免許が下りにくかったり、酒屋との兼ね合いで酒類の販売をしてなかったりする事が多いのです。

僕の働いている店の半径50メートルにはコンビニは、4店舗ありましたが一軒も酒は扱っていませんでした。

酒屋さんも深夜12時で終わっている為、頭下げているのにその女のコは、お客さんの方は『いいよいいよ』と言って申し訳なさそうに僕に気を遣ってくれてるのに、まだ『ヤダッヤダッビール無いとヤダァゝっ！！』と赤ん坊のような仕草でダダをこね始め、僕はプチンとキレながら非常に冷たい眼で女のコに、『分かりました！缶ビールでも宜しいですか！？』と尋ねました。

女のコは、僕の眼を見て少し冷静さを取り戻した様子でウンと答え、僕は店長に『ちょっと缶ビール買いに走って来ます。』と言い、店長が『〇〇くん、いいよっあんなの聞かなくて無視してて』と言ってくれたのを聞いた後に、『いいんです。ああいうのは口で言っても分かりませんから！態度で分かります。』と答え、店のある南口と反対側の方へ猛ダッシュで走りました。

冬場なのにワイシャツ姿の金髪が、猛ダッシュで走っている姿は回りの人からしたらかなり異質だったと思います。

しかも走りながら、『あのアマツ死ねっ！！』などの罵詈雑言を口走って走ってましたからスレ違う人はビックリしたことでしょう……走り始めてから10分程して、繁華街から少し離れたコンビニで酒を売っていたので息を切らしながら忘れもしない「アサヒスーパードライ350ml」を2本買い、また猛ダッシュで店に戻りました。汗だくで髪を振り乱しながら店に入り、缶ビールをグラスに移し替えもせずに女のコのテーブルにドンツと置いてサツサとその場を後にし、キッチンに入るとトレンチを2枚使用不可能になるくらいぶん殴りました。

その態度にビールを頼んだ女のコはビックリして泣いていたそうですが、関係ありません。

ナメた態度を取るヤツは態度で分かせないと分かりませんからっただ周りの女のコまで怯えさせてしまったので、そこは反省しました。

次の日、その女のコから謝ってきたので僕は自分の方こそごめんねっ　と柔らかに謝り何事も無く日々は過ぎていきませんが、その後その女のコが無茶な要求をする事はありませんでした。

普段は店の為、女のコ達の為に目一杯働くっ！！しかしお客でも女のコでも理不尽な態度や要求をしたら絶対に引かない！！

これが僕のスタイルです。たまに客でヤ○ザの若頭の息子とぶつかり危ない目に合いそうになったりしましたが、こちらがちゃんと筋の通った事をしていれば、少し経つと分かってくれてかえって仲良くなったりしました。

逆に自分よがりな事でキレても自分の評価をただ下げるだけでした。キャバクラで働く男子スタッフの皆さん、ただ優しいだけや調子の良いだけではなく一本筋の通ったスタッフを目指してみても如何でしょうっ

## 真冬の客引き…そして人情

寒さが痛く感じる2月になりました。

この時期、店の前に立ってポーターをやっていたり客引きに長時間外に居るのはかなりキツイですっ（；|；）

最近は過剰な客引きって余りしないと思いますが、僕が水商売を始めた頃は石原都知事の厳しい条例も無かったのでガンガンやってました。

ある意味その街の水商売ストリートでは有名人と言っても過言ではないくらいにハイテンションでガンガン客引きしていたのを思い出しますっ

キャバクラで働く男子スタッフの皆さんはどうでしょう!?

客引きは好きですか!?

嫌いですか!?

客引きをしていると、避けて通れないのが他店の客引きとのトラブル:

あんまり調子に乗って客引き中に他店の前で止まって、お客（見込みの）と交渉したりすると、例えばほんの30秒位でもめめますっ（\*、、）

こっちが沢山の客を引いていると尚更くだらないクレームをつけてきます。

クレームつける暇があったら、その分客引きしろよっ!!とよく思いました。

また他店の指名客を客引きしたりすると、店まで乗り込んできてクレームをつけてくる勘違い野郎もいます。

どこの店に行こうが、お客さんの自由なのにつ（、ー、）

まあ悪い事ばかり書いてますが、心温まる出来事もあります。

僕が大雪の中、他に客引きしているヤツなんて当然いない日に売上を上げる為、何時間も客引きをしていた時の事です。

歩いている人もまばらで、声を掛けても大概の人は家に帰るからと言って足を止めてはくれませんでした。

そんな中、中年のサラリーマン3人組が目の前からやってきたので、絶対連れて帰るっ！という気持ちで声を掛けると、

『こんな雪の中声掛けてるの！？頑張ってるなあゝっ行つてやりたいんだけど、行く店があるからごめんなっ 』

と、気遣いながら言われてそれじゃあしょうがないなと思い笑顔で見送りましたが、テンションは一気に落ちました…

しかし落ちてても何の意味も無いので、気持ちを切り替えて再度客引きに精を出しました。

…が、大雪の中お客さんがつかまる筈も無く、店長に頭下げて店に戻ろつかとも本気で思いましたが、結果を出せずに引き下がるのがその時は許せなくて閉店1時間前までは頑張ろうと気合いを入れ直して、また客引きを再開しました。

雪の日の夜というのは、とても繁華街といえども静かで段々と人も見かけなくなっていく、いつもはハイテンションの僕も、軽く泣きたくなりました…

もう無理かと思つた深夜11時過ぎ…僕の背後から『まだやつてたの！？』という声が聞こえてきたのです。

声の方を見やると、さっきの気遣つてくれた中年サラリーマン3人組の方達でした。

僕は、『ハイツまだやってますっ これからお帰りですかっ！？』と空元気を出して返答すると、サラリーマン3人組のリーダー格の人が一瞬優しい顔で沈黙し、『いやあ、実は遠目で君の姿を見て一度違う道から帰ろうとしたんだけど、この雪の中1人で頑張ってるからやっぱり放っておけなくてさっ どこのお店なの！？ワンセツトだけしか行けないけど連れてつてよっ 』と言ってくれたのですっ！！

この時ほど人の人情が染みた事はないくらいにジーンときて、このオジサンに抱かれてもいいって一瞬思いましたっ（笑）

客引きは、時には厳しい思いもしますが、普段は気付かない人の人情触れる事もあるので現在でも客引きしてる方は、寒さに負けずに頑張ってくださいねっ

## 水商売の食は安全！？

ここ一週間くらい、巷は毒物混入餃子で過剰なくらいに騒いでますね。

もちろん僕も餃子はこの報道以来食べていませんっ（ - - ）

実際どうなんでしょう！？皆さんは普段から食べ物に対してどの位気を遣っておられるのでしょうか。

日本製といえども食品を扱う仕事をしている人は、多かれ少なかれ、『あつ…まあいいか…』というケースがあるのでは！？

僕が首都圏では、そこそ有名な菓子屋で働いていた時には、よく作ったあんこの中にゴキ○リの小さなヤツが熱で丸く縮んで混入してました。

月に2、3度は苦情がお客さんから来てましたが、いつもより少し入念に掃除するくらいで会社として、あんまり気をつけてはいませんでした。

多分今でもワンマン社長の経営なので変わってはいないでしょう…さて水商売ではどうでしょう！？

お店では結構フードやドリンクがありますよねっ

これはあくまでも僕が見てきたケースですが、色々見てきた感じでは、かなりの割合である事です。

まずドリンク。カクテルにのっているチェリー…かなり使い回してました。

レモンなども当然使い回します。

フルーツ盛りが出てキッチンに戻ってきた後などは特に使い回してました。

次に出るフルーツ盛りにだったり、フルーツジュースだったり…

フードにしても、まずは飾り用に皿に盛るレタスやパセリは当たり前、お新香も半分余ってキッチンに戻ってくれば新たに半分盛って違うテーブルに出します。

唐揚げなども、もう一度軽く揚げ直して出したりしました。

注）キッチンのチーフがやってました。

水商売は、ちゃんとしてる店はこんな事をしていませんでしたが、結構メインが接客な為にフードやドリンクに対しては緩かったりします。

中には賞味期限を過ぎていても出したり、床に落ちた物を出したりします。

さすがに床に落ちた唐揚げを出そうとキッチンのチーフが僕の目の前でした時は、『チーフそれはマズいよっ！！時間掛かってもいいから作り直してっ』と言って止めましたが、これと似たような事が色んな店で起こっていることでしょう…

皆さんも飲みに行かれた際、フードやカクテルを頼んでみてチェリ―やレモンが新鮮でなかったり、パセリやレタスがしなびていたら『ん！？もしかして』と少し考え食べたりしない方が良いかもしれませんね。

ちなみに僕は、他店に飲みに行った時はフードには手をつけませんでした。

酔っていると細かい所に目が届きにくいですが、その辺を見越して店側も手抜きをしてきたりするので、ちょっと注意して見てみては如何でしょうか！？

## 夜の世界のアリとキリギリス…

最近の日経平均株価も13000円代と冷え込んでますが、水商売をしている皆さんは稼いだお金をどうされてますか!?

- ・ファッション
- ・ペット
- ・整形
- ・ブランド物
- ・ホスト
- ・キャバクラ
- ・風俗
- ・資格

…色々ありますが、水商売で稼いだお金は総じて水商売（風俗含む）に還元され易いです。

例えば、ある風俗嬢の場合…月の月収が220万という大金を稼いでいたが、まだハタチそこで将来の事より目先の遊びが全てでした。

毎日仕事の後、ホストクラブで夜を明かし支払いなどで必要なお金以外のお金をホストにつぎ込んでいたのです。（現在進行中ですが…）

彼女は、『お金なんてまた稼げばいいじゃんっ』と軽く言っています。

さて、月々彼女がホストクラブに落とした金額は、約180万。年に換算すると約2200万もの金がホスト遊びに消えていった事になります。

当然このコの場合、貯金なんてしていません。他人にはホスト遊びでも本人にとっては本気だから…

しかし、そのコの指名しているホストは着々と貯金をしています。

将来の自分の為にウン千万という金を…



そのコにとってそのホストは本気の恋。

ホストにとってそのコはビジネス。

数年後に2人には明確な開きが生まれます。

ホストクラブのオーナーと人気に陰りの見えた風俗嬢という…

その時、そのコはお互いをふと客観的に見てどう思うのでしょうか！？

『あぁっ〇〇クンがお店のオーナーになれて良かったぁ  
と素直に喜んでいるのでしょうか。』

それとも数年間ちゃんと将来を見据え、夢を叶えた彼の姿を見て、そのホストがなんだか遠くに行ってしまう自分が取り残されたような寂しい気持ちになるのでしょうか…

水商売や風俗関係のコの中には、しっかりしたビジョンを持ってマシヨンのオーナーやお店をオープンさせるコもいます。

まず目先の遊びより自分の将来の基盤をしっかりと築いて、お金を稼げるサイクル（店舗収入や賃貸料収入など…）を作り上げてから、ゆっくりと遊ぶのです。

さて…今、思いのままに稼いだお金をホストにつき込んでいるそのコ。

数年後、稼ぎに陰りが見えハタチの時程稼げなくなった時に、数年前から将来を見据えてマシヨンなり店のオーナーとなった元風俗嬢のコと目当てのホストの取り合い（店舗内ですが）になった時に、果たして勝ち目はあるでしょうか！？

そして目当てのホスト（この時にはオーナーになっているとして）は、いったいどちらのコの方に魅力を感じるのでしょうか！？

答えは明白ですね。

もし今、上記に書いた事でふと不安になったアナタ…

少しの間、将来の自分の為に投資してみても如何でしょうか！？

いつまでも夜の世界で魅力的に見える為にっ

水商売を生き抜くには…（前書き）

随分放置して申し訳ありませんm（u—u）m

## 水商売を生き抜くには…

水商売から完全に足を洗って丸2年が経ち最近の水商売について、  
とんと疎くなつてしまいました。

水商売で知り合つた仲間は99%お水の世界から消えていきました  
…（自分も含めて）

僕も含め、大半は水商売で働く期間中に何がしかのモノを残し次に  
繋がるように計画的に行動出来ず、大概がその場しのぎの生活に行  
き着いています。

テレビでは、水商売の華やかな面ばかりクローズアップされがちで  
すが、そのほんの一握りの成功者の影ではウン万倍の上手いかな  
かつた人達が居ます…

挫折と思つていなくとも、お水の世界を経験した後で経験する以前  
と生活が変わつてしまつた人は多いでしょう。

例えば、キャバクラで働いてみて日払いでお金が入るようにな  
り、金銭感覚が狂い金遣いが荒くなり、結果借金が増えた人…かな  
りの数に及ぶと思います。

借金の為に水商売が辞められない、又はもつと稼げる風俗に流れる  
きつかけになつた人もいるでしょう…

ホストで成り上がりを夢見て上京してきた若者も、大半は現実の厳  
しさを目の当たりにし、その後ガテン系や日払いの仕事でなんとか  
しがみついている…そんな人が多いと思います。

水商売は良い時期と悪い時期との変化が激しい世界です。

順風満帆な生活が近い将来、一変する事がままあります。

勿論、逆もあります。が総じて稀でしょう。

一度甘い蜜を味わつた人間は、なかなかコツコツ真面目な生活には  
戻れません…戻れたとしても長くは続かないのが僕が見てきた現実  
です…

僕自身は、何度か『人生ここまでかな…』と思う事がありました。

ただそのたびに出会った人々に救われて今日まで無事暮らしてこれました。

それは自分で引き寄せた訳ではなく神様でもいるかのように必然と思える出会いです。

女性だけに限らず、たまたまアクシデントがあつて知り合った会社の部長に拾われたりと、辞めた今も感謝しています。

今になって思えば…水商売の世界で生き抜いていくには、目先の金に執着せず遠い未来の為に人間関係をしっかりと築いた者だけが、最後まで水商売をまっとう出来るのだと思いました。

## キャバ嬢達の表と裏

もう少しでG・Wがやって参ります。

ちょうど僕が最初の水商売デビューをしたのがG・Wでした…

お店が新規オープンでやり手の店長のキャバクラだったので、まさに死ぬ程の忙しさでG・Wの営業中に男子従業員が2人バックレました…

ひと月程そのキャバクラで働いていて一番ショックというか『えっ??』と思つた事は、人間の裏表のギャップです。

やはりキャバクラどころか水商売初経験のその頃の僕には、見た目に自信のある女性約40人を目の当たりにしてドキドキしない訳がありませんっ

キャバクラにも行つた事ありませんでしたから、ある意味ハーレムにいるかのような錯覚を起こしました(笑)

心の中で、あのコカワイイなあゝっ

あのコモカワイイツ

あのコは、アンドレ・ザ・ジャイアントに似てるっ(笑)

…などなど自分勝手な妄想をしながら最初の内は、仕事は超ハードでも楽しくキャバクラワークをこなしていました。

キャバクラで働いた事がある男性なら分かりますが、最初の何週間かは毎日の店内業務と女のコ達の名前を覚えるので手一杯で余計な事を考える余裕などありません。

あつたとしたら、よほど暇なヤバイ店でしょう。

3週間程して体も慣れ仕事もある程度形になってくると、余計な事を考える余裕が生まれてくるのです。

自分が気に入つたコ達には、他のコ達より目がいきますし、ある意味それが栄養剤の代わりになってくれたりします。

そんな中、それまではただ接客している姿を見ていて、『ああ笑笑顔が優しげでカワイイなあゝっ』などと思つていたコが、営業が

終わると一変して無口無表情のロボットみたいに変貌した姿を見て『こんなコだったの…』と、ある意味ショックを受けました…

それからというものの店の女のコの外見より内面的な部分を観察するようになり、半年程経つと軽く女性不信になりました…（；ー；）これは、僕個人がキャバクラで働いていて思ったり感じたり経験した事なので、一概に言えない事です、タイプ別にキャバクラで出会ったコ達の見えない部分を上げていきます。

・タイプ1：見た目カワイイ系で癒し系タイプのコの場合

第一印象でもっとも好感度が高いこのタイプは、今までの人生で周リからチャホヤされてきている為、カワイイと言われるのが当たり前とある意味思っています。

下から相手を上目遣いで見上げながら話を聞くタイプが多く、お客を勘違いさせるのがとても上手です。

貢ぐより貢がれるタイプなので、何か約束しても口約束にされがちで、一見穏和そうですが、実は負けず嫌いで気を許した人間には、気に入くわないヤツの悪口をガンガン言っていたりします。

そして全く計算してなさそうで、その実したたかな計算に基づいて行動している事が多いので、惚れると振り回される可能性大です。

・ケース2：見た目クールな細身の美人系の場合

目が切れ長で女性からも綺麗なコと認められるタイプ。

総じてそんなにお喋りではなく、その場に居るだけで存在価値があり、このタイプを狙ってくる男性は自分に自信があつて金も持っているタイプが総じて多い。

見た目クールな為、冷たそうに見られがちだが、実は情に厚く面倒見が良かったりする。

金持ちの男性からアプローチが多い割に選ぶ男は意外に貧乏だったり、見た目がイマイチだったりする。

結構苦労するタイプだが、そんな所が自身の魅力を上げていたりもする。

・ケース3：見た目芋っばい、どこか田舎くさい女のコの場合  
どこか垢抜けない昭和の香り漂うタイプ。

がつつりメイクのコ達とは対局に位置する彼女達は、決して雄弁ではないが、こちらが軽い気持ちでした口約束もちゃんと真摯に受け止め実行してくれるデキタ女のコが多い。

家事もしっかりとこなし、料理上手なコも多いので末永く付き合うには一番良いタイプ。

マイペースなコが多い為、手を抜いていると思われがちだが本人は表に出さないだけで一生懸命やっているので、長い目で見守ってあげると成長するコが多い。

まあ自分勝手な解釈で書きましたが、僕が水商売で出会ったコ達は、上記した大別が一番当てはまります。

キャバクラで働いてからプライベートでも女のコの内面を見抜こうとしてしまう癖がついてしまいました…（T―T）

## 思いも寄らぬ報復：

長い事放置してすみせんっ

何を書くか考えている内に150日余り放置してしまいましたっそれはさて置き、季節の変わり目は仕事の変わり目でもあります。

『もうすぐ夏も終わるし、新しい仕事探そっかなあゝっ』…なんて経験皆さんしてきたでしょう。

僕はよく春になると仕事を辞めたくなりましたっ（笑）

そして1ヶ月程悩み辞めてしまうケースが、まま有りました。

今回は、そんな季節の変わり目に起きたある問題です…

ある街のそこそこ人気のあるキャバクラにリナという女性がいました。

お店でも5本の指に入るくらい人気があり、見た目もスレンダーで美人系です。

お店に勤め始めてから1年経過していました。

前にも書きましたが、見た目スレンダーな美人系というのは第一印象は概ね気が強そうとか、冷たそうとか良くないイメージを持たれがちですが、大概が情に厚いヒトが多く、むしろ気をつけるのは力ワイイ系だと書きましたねっ

このリナというコも口数は少ないけれども、誰に対しても優しく接してくれて、お店のコ達の評判もけっして悪くなく、むしろ良かったのです。

ある日リナからお店のママの方に数日休みますという連絡が入りました。

お店のコ達は、ヒソヒソ噂をしています。

『また例の彼氏のDVじゃないの』と…

リナには同棲している彼氏がいました。



普段は優しい彼氏なのですが、たまにリナに暴力を振るう悪い癖があり、そうなる体中にアザが残るのでアザが消えるまでリナは、お店を休むといった事が、これまでに数回あったのです…

そうこうしているうちに数日経ちリナが週末に出勤しました。お店のコ達も、『何かあったの？』なんて野暮な事は聞きません。お店は何事も無かったかのように賑わい、その日もそこその売上を上げて終わりました。

日曜定休のお店なので、1日空けて月曜日の営業です。

お店の営業が始まる前、店長の方から女のコ達に話がありました。

『ええ…1年程この店で働いてくれたリナちゃんが、お店を辞める事になりました。皆さんに宜しくとの事です…』

突然の事に女のコ達もざわめきました。

結構仲良くやっていたコ達など尚更です…全く誰にも何も言わず、リナは最後の挨拶も無しにお店を辞めてしまったのです。

仲良くしていたコ達もリナに連絡してみました。が、連絡は返ってこず、住んでいたマンションもとうに引っ越した後だったというのは後々分かりました…

リナが辞めて1週間…みんなまだ少し気になっていました。

一言くらい相談してくれたらと…

そんなある日、ロッカールームで女のコ達がガヤガヤ騒いでいます。どうやら2ちゃんねるの自分達についてのお店の書き込みが話題のようです。

女のコ達は尋常じゃないくらい怒っていました。

お店の女のコ達個人個人の悪口や有りもしない噂話が列挙してあったからです。

『何コレッ私客となんか寝てないよっ!!』

『私だって客に貢がせてなんていないもんっ!!』

中味は真実半分嘘半分といった所でしようが、問題はそれを書いた

人物です。

どうやら1週間前に突然辞めたりナが犯人らしいのですっ

リナらしき人物が書き込みした個人やお店に対する噂話や悪口は膨大な量でした。

まるで今まで溜まっていた膿を全部吐き出したかのように…

お店の女のコの中には、リナが書き込みした事を信じらんないコも何人かいました。

温和で優しくったりリナが、あんな事を書く訳がないと…

しかし、お店のあるコがネット上で書き込みした本人とやり取りし、リナしか知らないような事にまで返答してきたので、まず間違い無いだろうということでした。

女のコ達は冷静に振り返ると、確かに優しいリナに甘えて色々頼み事をしたり、延々話を聞いてもらったり、リナの気持ちも考えないでリナを利用していた節はあった事に思い当たりました。

ただ、だからと言ってこんな形で返してくるなんて想像もしていませんでした…

その後、噂が噂を呼びお店で働こうとする女のコも集まらなくなり、お客の人数も激減してしまいました。

皆さんも相手がハイハイ言う事を聞いてくれるからといって、調子に乗ると思っても寄らない形で痛い目に合う事がありますので気を付けて下さいねっ

## 出会うヒト出合わないヒト…

人間、良いも悪いも生きていると何年かに1度、運命的な事がありますよね！？

1番起こり易いのが異性との出会い…

まあ酔っている場合はアテにならないので外しますが、皆さん運命を感じたり第6感がキューピーンッ！！と何かを知らせてくるような出逢いを1度は経験なさっているのではないのでしょうか？！

この感覚…：日常に特にツライ事が無い人より、常に崖っぷちの人の方が研ぎ澄まされているような気がします。

僕自身振り返ってみると、例えば日々の暮らしが安定していて彼女とも上手くいっているのと別段出逢いも無く毎日が過ぎていきました。ところが付き合っている彼女と別れるのも秒読みで、水商売や日雇いの肉体労働などに勤しみ先行き不安な状態の時ほど、『あっ…：何だろうこの感覚…：』と思えるようなコと出逢い、結果付き合うようになり、2年3年と一緒に居るようになります。

『そんなに上手くいかねえよ！！』と、お思いの方…：いつもガツガツしていませんか？！

体の表面から

「恋人欲しいっっ！！」的なオーラを無意識に発しているかのよう…：

例えば飲み会で会ったコとすぐホテルに行きたいと思ってしまい、そういうテンションで飲み会の時間を過ごしてしまうようなヒト…：別にホテルに行きたいと望んでいるようなコが相手ならそれで構いませんが、見た目にそこそこ自信があるコは、『私、そんなに安い女じゃありませんから。』という自負があります。

皆さんならどうします？！

「こりゃあ無理だっ…」と思って諦めますか！？

それとも、そんな女性の心理など関係無しに自分の思った通りに行

動しますか！？

僕なら

「大丈夫っそんな気無いからっ」というふうに対応します。

ガツガツせず、相手が気分良く過ごせ、そして話を気持ち良く聞いてあげる。

例えばその時に何も無くても相手の自分に対する印象はとても良くなります。

すると相手の内面では、自分という存在が

「このヒトなら一緒にいて安心っ」という状態になり、また飲みに行ったりカラオケ行ったりしようよっ…となる筈です。

僕が言いたいのは、常日頃街で見かける欲に流され酔っ払って居酒屋の前で女のコ達を落とせず、おひらきになるのが嫌で居酒屋の前で粘って話そうとしているハタチそこそのコ達…

「もっど相手の気持ちを読め！！自分ありきで行動するな！！」と言ってあげたいし、週末の夜を見ているとふと

「ああゝっ下手くそだなあゝ…」と思う若いコが多いです。

多分こういうタイプのヒト達は、運命的な出会いを感じたりする機会が極端に少ないか、常に運命的な出会いに感じるかのどちらかでしょう…

これから先、運命的な出会いをしたいなと思っっている方々…まずは上記のような事を考えてみては如何でしょうか！？

## それぞれの酒癖：

水商売の世界は、飲むのが仕事の主な部分を占めます。

接客という大前提もやはりアルコールという力があって効果が何倍にもなる事が殆どだからです。

お酒が無くていいならキャバクラやホストクラブに行かずメイド喫茶系に行けばいい話ですから…

水商売で働いていて色々な人間模様を見てきました。

キャバ嬢に振り回される客：

キャバ嬢のストーカーになる元カレ：

会社の経営者だった人が数ヶ月でバイト君と化すのを見たり、行方不明になる人まで様々です。

他の世界では考えられない事が日々起こるのは、やはりアルコールと異性が交わる世界だからでしょうか…

何故、人はお酒を飲むと多かれ少なかれ人格が変わってしまうのでしょうか！？

飲むと普段内気な人が喧嘩腰になったり、寡黙な人が陽気になったり、厳格な人が幼稚になったり…

深層心理で自分が望んでいるであろう状態に、酒の力を借りる事によつてなっているのでしょうか！？

僕自身は酒を飲むと少し陽気になるくらいなので、恐ろしいくらいに変わる人を見ると、『どうしてそんなに性格変わるの！？』と思いつつアルコールの恐ろしさを感じてしまいます…

そして僕自身も、そんな世界で長い事生きてきたので酒で痛い目には幾度となくあつてきました…

痛い目といつても僕自身は上記した通り酒でそんなに豹変するタイプではないので大概は付き合った女性が爆弾だったというパターンです。

飲むと多重人格になるコと付き合っていた時は、人前でいきなり人

格が変わり幼児化したり記憶がいきなり無くなったり一緒に居た9  
カ月間は彼女が飲みに行った夜は常に『今日は何事も無く帰って来  
るのだろうか…』と気が気でない日々を過ごしましたし、18歳か  
らキャバ嬢というコと付き合ってた時などは、何度飲酒の拳げ句の  
果てに警察沙汰になったか分かりません…（泣）

それ以降、付き合う彼女はお酒を飲まないコが大前提になりました。  
皆さんもこれから年末に向けて飲酒の機会が増えると思いますが、  
まずは一緒に飲む人の事を考えて飲んで下さい。  
それが後々自分の為になりますからっ

## 働く人々…

水商売の世界で働く人間は、多かれ少なかれ何かある又は、あった人間が働いている事が多いような気がします。

その何かは十人十色…人それぞれで千差万別ですが、一番多いのは金銭問題でしょう。

僕自身も、お水の世界に足を踏み入れたきっかけは自身の借金でした。

水商売が何たるかをまったく理解していなかった僕は、初任給から月給25万円というのは何よりも魅力的に感じたのを覚えています…その25万という給料に色々な意味が込められている事に気付くのは、面接に受かって働き始めて2週間位経ってからの事でした。

精神的にも肉体的にも、後にも先にもこの時の仕事に勝るものは、今現在でも有りません…

厳密に言えば、体のきつさではコンテナの荷下ろしの方がキツイですが、常に客や女のコ達、そして強烈な店長が見ている環境での仕事という意味で心身共に激務でした。

まあその事は本題ではないので省きますが、そんな環境に順応する輩といえ、やはり一癖ある人間が多いような気がしますっ（自分も含めてっ）

初めて働いてた店では、元自衛隊員や常に競馬新聞を見ているチーフ、他県で借金取りから逃げてきた自称スーパーウエイターetc…ちよいと挙げてみてもちよっと他の職場では、お目に掛かれないような面々が揃っていました。

経歴や振る舞いだけではなく、性格も一癖あつて、以前の職場で同僚や上司とぶつかって辞めたというタイプがかなり多く、僕自身も何度かこの人達とマジギレでぶつかったのを覚えています…我が強く個性的な人間が多い水商売の世界では、性格がデリケートで

内向的な人は余り向いていません。

多少の失敗など気にもとめないような、図太い神経の持ち主が理想的です。

かといって、人の気持ちが読めないような人では出世はあまり望めないないので、その辺のバランスが難しいところです。

1つだけ水商売の世界である程度成功する人が持っているモノを挙げるとしたら今現在ではなく将来を見据えて日々を送っているという事でしょう…

そして根っからの助平という事でしょうか（笑）



コッテコテのお客様…（前書き）

今回長いです。すみません…

## コッテコテのお客様…

僕が、水商売の世界に身を置いたのは丸5年と半年くらいでした。5年半といっても途中何度か辞めていた時期があるので初めた時から完全に辞めるまでの期間は8年くらいでしょうか。

水商売の世界に入った年齢が大多数の人々は十代でしょうが、僕の場合は普通のサラリーマン 専門学校生 事業者と少し省いていますが、色々とあつて20代半ばに差し掛かるうという時期に縁あつて！？入った訳です。

5年半という年月の間に水商売と一括りにいっても色んな形態の店を渡り歩きました…

良い事ツラい事…まあ半分以上ツラい事でしたが、生きてきた人生の中で一番充実していた事は間違いありません。

でも戻りたいか！？と聞かれれば答えはノーですけどっ（笑）

5年半もいると色々面白い事にも遭遇したりする訳で、今回の話は僕がある街で軽いホストをしていた時の話です…

その頃、僕は一度足を洗った夜の世界に再び1年ぶりに舞い戻って間もない時でした。

1年間ブランクがあつて果たして上手く接客出来るだろうかと最初の内はよく考え込んだりしていたのを覚えています。

しかし周りの先輩方が優しい人の良い方ばかりだったので、（全員ではありませんよっ）気持ち良く接客する事ができ幸先の良いスタートを切る事が出来ました。

その日も深夜からの開店準備をちゃっちゃと済ませて店の入口から少し入ったカウンターの中で、お客が来店するのを焼酎の水割りをチビチビ呑みながら待っていると小振りのバッグを持った30代半ばくらいの、見た目が昔いた太平シローだったか名前を忘れましたが、そんな風貌の男性が1人で入店してきました。

カウンターのの中には僕と、お店では古株の先輩とその時は2人居て僕達は男性に対し、『安全なお店ですよ〜っ』という気持ちを込めて、

「いらっしやいませっ」と軽い笑顔で迎えると、その男性は入口でバツと身構えるポーズを取り、

「なんや怪しい店やなあっ身ぐるみ剥がされるんとちゃうかあっ」といってカウンターのの方にやって来ました。

「そんな事しませんよ〜っウチは安価で安全をモットーにやりますからっ」と適当な事を言ってカウンターの真ん中の椅子を勧めて座って頂きました。

どうやらサパーに来たのは初めてらしく、座ってもソワソワして落ち着きが有りません。

とりあえず先輩がシステムの説明をササっとして飲み物の注文を取ろうとすると、

「せやなあっじゃ焼酎ミルク割りでっ」

先輩がポカア〜ンとしているのですかさず僕が

「なんでやねんっ」と軽く突っ込むと男性はホッとしたような嬉しそうな顔で、

「おっ兄ちゃんいいノリやなあっこっちの兄ちゃんダメやんっボオ〜っとしてたらっ」と急に饒舌になり始めました。

僕は以前、大阪出身の友人と一緒にいた事があったので、懐かしいノリでとてもやりやすいなと思ったのを覚えています。

対して先輩の方は、どちらかというと女性のお客様の方が話し易いらしくやりづらそうな感じで、アイコンタクトで『お前に任せた』と合図されたので僕がメインで男性を接客しました。

ボケと突っ込みを交えながら男性の話を聞いてみると、どうやら大阪の和食の料理屋で板前をしていたらしく30代の内に東京で勝負がしたくて上京してきたという話でした。

で東京に来てとりあえず飲み屋で女性と意気投合して、女のコのお店が終わってから会う約束をし、女のコが来るまでの間、時間を潰

せる場所はないかと迷っていて僕の働いている店にたどり着いたという事でした。

「東京に勝負しに来ていきなりキャバクラでキャバ嬢にハマってんなよっ！！」

…とは僕は思いませんでした。

僕も仕事も住む場所も変わって人恋しい時、普段は自分から絶対に行かない同業の店にふと行ってしまふ時があります。

僕の場合住む場所が変わるといっても、せいぜい都内とか東京に近い埼玉とかそんなモノですが、大阪から東京にたった独りでこっちに知人も居ないときたら、僕には想像出来ないくらい不安で心細かった筈です…

そんな時に街をアテも無くフラフラ歩いていたら光輝くネオンの明かりが、とても魅惑的に見えた事でしよう。

そして東京で仕事とはいえ、初めて優しくされたのであれば、そのキャバ嬢に惚れてしまったとしても誰が男性を責められるでしょう…なんて、そこまでは思いませんが、まあいいんじゃないでしょうか僕に出来る事といえば、そんな男性の話を聞いてあげて少しでも楽しんでもらうだけでした。

「なあなあっどうなん！？こっちの女の子は！？やっぱり注意せなアカンか！？」

「僕には○○さんの知り合った女性が、どんな方か分かりませんが大阪も東京も変わらないと思いますよっ」

なんて会話を2時間程し、男性は上機嫌で焼酎の水割りをクイクイっと飲み続け、途中はしゃぎ過ぎて椅子から床に何度か転げ落ちていました。

そんなこんなで時間も深夜2時を回り、男性が携帯をチラチラ気に始めたので、

「そろそろ待ち合わせのお時間ですか！？」と尋ねると、

「ああっもうすぐ時間やなあっ名残惜しいけど、そろそろ勘定してくれるかぁ」

分かりましたと笑顔で答えながらササッと伝票を書き男性に渡します。

「なんやエラい安いなあっコレで商売やっていけるんか!？」

「ウチは安価で安全がモットーですから」

笑顔でそう答えキヤバ嬢との約束の場所に向かう男性を入口まで見送り、笑顔で手を振りながらエレベーターに消えていく後ろ姿に深く一礼して僕は先輩の居るカウンターの中へと戻りました。

やれやれといった感じで一服している先輩に、

「あのお客さん、女性と会えますかねえ!？」と、僕もタバコに火を付けながら聞くと先輩は手元の水割りを飲みながら、

「どうだろうなあ…約束の時間になっても連絡無かったみたいだしなあ」と、少し遠くを見ながら返してきたので僕も少し不安になりました：

東京に来てこれから先、色んな苦難が待っている筈：今日くらいはとことん楽しい1日であってあげて欲しいなと、ふと思いました。30分程経ち、お客が来ないなと入口を出て通路からビルの下の通りを先輩と覗いてみると、そこには先ほど上機嫌でキヤバ嬢との待ち合わせに行った筈の男性が不安そうに待ち合わせ場所らしき所を行ったり来たりしていましたっ

僕は心の中で、『ああっ体よく遊ばれたかあ…』と男性を不憫に思いつつも、これがこの世界の日常だからしょうがないかと考え、男性に気づかれない内に店の中に戻りました。

僕に見られてたと知ったら男性は恥ずかしいと思うと思い、あえて下に行って声を掛けるような真似はしませんでした。女の口に会えなかった分ウチの店で飲み直して気分を発散してもらいたいとも思いましたが、それはお客様が決める事：入らぬ親切になる事もありますからねっ

その後、その男性を見掛ける事は有りませんでした：

あれから6年…あの男性がこっちで成功していればいいなと、たまに思い出しては思っています。

## 広そうで狭い世界…

水商売の世界は、広いようで狭く、店を辞めて全然違う店に入っても、実は系列店だったりオーナー同士が知り合いだったなんてよくある話です。

なので元従業員の噂話や辞めたその後の話が耳に入ってくる事がよくあります。

大概是、

「アイツ、今度どここの店で働いてるんだってさ」くらいのモノですが、中には店の女と逃げたらしいとか、売り上げ金持ってバツクレたなんて話まで入ってきます…

働く街を多少変えたくらいでは、横の繋がりやお客さんからの報告などで、ある程度行動が筒抜けになってしまうのです。

自分の知らない所で自分の噂話や行動が語られている…

怖いですねっ

僕もこんな経験がありました…

それまで働いていた街を離れ、誰も知り合いがない街で働き始め、どこの街で働いているか以前の知り合いには誰にも言わなかったのに、ある日、知り合いから電話があり出てみると、

「ねえ今〇〇で働いてるんでしょっ!？」と聞かれ一瞬背筋がゾクツとしました。

詳しく聞くと、情報元は僕が以前働いていた店の常連客で、色んな街で飲み歩いている中でたまたま僕を見掛けたりしいのです。

それを聞いて僕は心底…『心機一転1から新しい街で頑張るつもりなら関西にでも行かなきゃ無理だな…』と、つくづく思いました…水商売の世界で働いている皆さんや、これから働こうと思っている皆さん…

広いようで狭い世界ですので、くれぐれもトラブルは起こさないように気をつけましょうねっ

## バイオリズム

季節の変わり目には体調を崩しやすいですね！？

それとはまた違いますが、バイオリズムによって気分が上向いたり逆に下がったりします。

人によって1日で変化したり、何日も続いたり様々ですが、僕の場合、何かキツカケとなる出来事が高確率で起こり、そこから気分が絶好調になるか絶不調になるかのどちらかで、よく友人には、

「性格は穏和なのに、考え方が極端だよな」と言われますが、考え方というより思考回路がそういう方向に結論を持っていってしまうと自分では思っています。

何が言いたいのかと言うと、同じ人間で見た目も全く変わっていないくてもバイオリズム如何で結果が著しく変化すると言いたい訳です…僕が接客業を辞めようと決意したのは、年齢とか酒で肝臓やられたとかの理由では無く、メンタル的な事でした…

それまで働いていた店のムードメーカー的存在だった僕は、大した理由も無く『なんかダルい』というしょーもない理由で店を辞めてしまった事が有ります。

それから2ヶ月後、その店で働いていた先輩に、お店のお客さんとアフターしてるんだけど、1人じゃキツいから助けに来てと頼まれ、やむを得ず助けに行っただけです。

指定された某カラオケ店に行くと、お店で有名な名物おばちゃんと疲れ果てそうな先輩が2人でデュエットを歌っていました(笑)

内心、『この2人でアフターなんて珍しいなあ…俺が店辞めた後、仲良くなったのかな！？』と思いつつ、

「お久しぶりですっ○○さん！先輩も久しぶりですねっ」と、さも嬉しそうに挨拶し時間も13時頃で早く終わらして夕方前には、帰りたいと思い参加しました。

…ところがここからが地獄の始まりで、結局カラオケ店を出たのが

17時つ（泣）

しかもその後おばちゃんに、

「飲み直すから付き合えっ！！」と半ば強引に僕だけ拉致られ居酒屋とダーツバーに連れて行かれ延々話を聞かされる事になったのです…

『あぁったまには先輩の顔見たいなっ…なんて思わなきゃ良かった…』と、わざわざ電車に乗って1時間掛けて来た自分を呪いました…そろそろ終電の時間になり始めたので、おばちゃんにやんわりと帰りますと切り出そうとすると、おばちゃんもその空気を読み取ったのか急に話題を僕が何故店を辞めたのかに切り替えて聞いてきたのです。

『ハア…早く帰りてえ…』

10時間以上付き合わされてヘトヘトな僕は、適当な事をそれっぽく言って帰ろうと考え話始めました。

「いやあゝ別に店が嫌だったとかじゃないんです。居心地良かったし、みんな良くして下さいましたし。ただ金銭的に店の給料じゃ厳しかったので辞めたんですよ」

「そうだったの、すごく楽しそうに仕事してたし何で辞めたのか気になって社長に聞いても笑って誤魔化すだけだしさあっ」

笑いながらハイハイ言っておき、頃合いを見て帰りますかと言おうとしたら、何を思ったかこのおばちゃん、ガシツと僕の手を掴み、「分かった！じゃあワタシが社長に給料前より上げてもらうよう言うてあげるからっ！もう一度頑張つてやりなっ！！大丈夫っ社長とか古い付き合いだし、アンタはこの仕事向いてるから頑張りなさいっ！！」

…余りの唐突さに声も出ませんでした。

社長と古い付き合いだからって、お客に給料交渉してもらうなんて普通に考えてありえません。

そんな事されて、どの面下げてその店で働くというのでしょうか…  
プラス、僕はただダルいという理由でチーフには辞めますと挨拶し



ましたが、社長には一言の挨拶もしないで辞めたので猛烈に会いたくありませんでした。

しかし、このおばちゃん…

「そうと決まれば急ぎましょうつもつお店も開く時間だし行くよつ！」

そう言つて僕を辞めた店に半ば強制的に連れて行つたのです…涙そして店に入り何故か辞めた身で、他の従業員が居る中、（知らない新人も何人か居ました。）おばちゃんの接客をしながら社長を待つという、

『悪い夢なら早く覚めてっ！！』

という状態が1時間程経ち社長登場（泣）

ここから更に1時間話合ひであだこつだあつて、また働く事になつたのです…

給料は上がったのかつて！？上がりませんよ。自分に対して礼儀を欠いたヤツの給料上げる社長なんていませんよね！？

その日僕は寝ずに急遽接客、しかも私服でっ

終わった後に、社長から軽く嫌味な小言を言われましたが、人間の出来たチーフにかばってもらい復帰する事になつたのですが、ここからが問題でした。

本心では別にやりたいなんて思つてないのに復帰する羽目になつたので、気分が乗らず以前のような軽快なトークが出てこないのです（汗）

当然楽しい訳も無く、この後再び辞めるまで以前の何倍も苦しみました。

一度やる気の炎が消えると再び火が点るには並々ならぬ努力がいると気付いた瞬間でした…

バイオリズムに左右されやすい人は注意しましょうねっ

## 処世術！？

様々な事が多様化し便利になった反面、何事も管理され人と人の関わりも希薄化し、薄っぺらい生きにくい世の中ですが、皆さんは日々人間関係などで苦労されていませんか！？

正直僕は、表面上の良好な関係を作るのは得意ですが、深く付き合い人間関係は苦手…というか面倒くさいです。

勿論良好な人間関係を構築する為には、ヨイショや接待、飲みに付き合う事などや話を聞くe t c…とても大事です。

が、とても労力を必要とし時間も取られ精神的にも疲弊する事もしばしばあるのも事実です…

人間関係が原因で会社や学校を辞めた方も多いことでしょう。

僕は水商売をやっていた何年間かの合間に、水商売から離れていた時期があると以前書きましたが、そういう時によく肉体労働をしていました。

理由はキツイ為、人手が足りない場合が多く仕事にありつける率が高い事と日払いである事、そして一番の理由は煩わしい人間関係が無いという事でした…

水商売で色んな意味で人間関係に疲れると、やる事だけすっかりやれば後は干渉されない世界に行きたくなるのです。

…しかしそんな環境も頑張り過ぎれば変化が起こるもので、一生懸命やってしまうと周りは目を掛けてくれるものです…

そう、煩わしい人間関係が無いと思えた仕事が段々と煩わしくなる瞬間です。

目を掛けてもらえるようになると、それまで現場特有のキツイ言い回しの注意やアレやれコレやれから解放される反面、輪の中に入っ  
てコミュニケーションを取らされるようになり、挙げ句…やっぱり  
飲みにつき合わされるようになるのです…（泣）  
そして決まり文句が、

「寮に入ってこれ一本で頑張りなよ！」

こうなるともう怒涛の如き半ば強制的な付き合いが、ほぼ毎日展開されるようになるのです…

現場仕事の人達の付き合いの方が水商売の時の付き合いより何事もとことん付き合わされるので僕にとっては地獄でした。

結局、仕事よりも仕事後の付き合いの方が嫌で辞めたのですが、その時に思ったのは、

「何事も全力でやるより7割の力でやってた方が色んな意味でいいな…」

と思いました。

賛否両論あると思いますが、全力でやっているといつか躓く時が来ると言いたい今日この頃っ（笑）

## 男と女の裏事情：

もう少しすると恋人がいないと寂しい季節がやって参ります。

街中は、いつもよりカップルが目立つように感じてしまうのは僕だけでしょうか！？

水商売の仕事をしていると、日中は殆ど寝ているので基本普通の生活を送っている人達とは余り交わる事はありません。

まあ寝る間を惜しんでパチンコしたり遊んだりする事もありますが、そんな事をいつもしていたら仕事に支障が出てしまいます。

当然付き合う恋人も過半数が同じ水商売の中で知り合う訳です。

これには、いくつか理由が有ります。

まず第一に日中活動している人と生活サイクルが合わない。

僕も水商売人だった時に大学生と何度か付き合った事が有りますが、休みの日でデートなどする時、昼くらいから合つてというのは、かなり辛かったです…

それに話題が若干噛み合わなかったり色々と問題がありました。

一番の問題は将来を考えられないという事でした。

片や真面目な学生でこれから可能性の大いにある女のコ、もう一方は事業に失敗して借金を抱え水商売に身を投じ、裏の世界の方々の周りで仕事をしている男…

どう考えても先は見えません。

『ただ単にその時を楽しんでいればいいじゃんっ』

という人は、それでもいいかもしれませんが、誰だって付き合うヒトとの将来を少しは想像するでしょう…

などの理由で水商売人は同じ水商売人と付き合うのです。

同じ業界の女のコの場合、結構波乱万丈な人生を送ってきているコが多いので多少の借金やトラブルでは同様しません。

むしろ付き合った後で、

「実は子供がいるんだっ」…などとこちらが面食らう事を言われた

事もままあります。

互いに傷を舐め合う訳ではありませんが、似たような境遇に親近感を持つのは事実です…

そして、もう一つの理由：水商売の世界に生きる人間は、どこか影のある異性に惹かれ易いという事…

はつきり言つてコレは良い結果は余り生まない現象で、この影に良い事は殆ど有りません。

しかし惹かれ続けてしまう。

これは水商売の魔力なのかもしれませんねっ

## 夢と現実…

気がつくともう10月：時が過ぎるのは、あっという間ですね。

お水裏街道を書き始めて早1年が経とうとしています。

こんな前置きをするとうつな雰囲気ですが、まだまだマツタリと書き続けていくのでこのサイトの書き物としては、ちょっぴり！？変わっています但し読んでくれる方々これからも不定期更新ですが、どうぞ宜しくお付き合い下さいませ。

某占い師の方がTVなどで、

「仕事に楽しみや夢を求めるのが、そもそも間違いなもの仕事は生きる為にお金を稼ぐもの。苦しくて当たり前なのっ」と語っておられました。

まだ若い人は、こんな事を言われたり聞いたりしたら、

「仕事に夢求めた方がいいじゃないっ楽しい方が長く続くしっ」と反論したくなる人もかなありいると思います。

夢を追う事は僕は否定しません。

むしろ夢を持って生きている人の方が輝いていてエネルギーを感じます。

僕自身は、まだ十代の時に仕事とは別に小さい頃からの夢であった絵描きになろうと焦って失敗しましたが、既に夢が本当に夢と消えた自分には夢追い人を見ると羨ましくもあり、寂しい気持ちにもなっています…

まだキャバクラで働き始めて半年くらいの時期に、最初1日の売り上げが15万くらいしかかない店を、1日平均80万まで上げた事がありました。

もちろん自分1人の力ではなく、部長以外全てのスタッフや女のコ達が一丸となつて半年でその界限では人気店の仲間入りを果たしたのです。

本当にその頃は毎日在必死で水商売人生の中で完全燃焼したのはこの店だけでした。

なんとか店をもっともつと良くして街一番とはいかないまでも、自分達の界限で一番の店にしようと思死に考え、よく部長と他店を見に行ったり、お店の女のコ1人1人と話し合い一番そのコに合った仕事が出来るように日夜取り組み客引きも、今でもあの頃の自分を超える客引きはいないと自負する程一層力を入れて頑張りました…そう、僕は自分の店を『誰にでも誇れる店にしたい!』と新たに夢を抱いたのです。

暫くの間は順調でした。

そして部長と話し合い、もっと店内のインテリアをセンス良くして女のコのスカウトにも力を入れてなどと熱く語って数日後、部長が珍しく営業時間に遅れて来たのです…

軽くアルコールも入っていて何だかおかしいな?…と思いながら仕事をしていました。

店が終わって女のコ達の送りに向かい、後は一番遠い女のコ1人を送り届けるだけになった頃、携帯に部長から着信が入り出ると、

「〇〇君、もう送り終わった?」

「後は〇〇さんを送って終わりですっ」

と切り返すと、少し間が空いてから、

「ちよつと送りが終わったら悪いんだけど、店の方に戻って来てくれるかな。」

内心、『何かあったな…』と思いながら、

「分かりましたっ送り終わり次第店に戻ります。」と返答し電話を切りました。

通常、送りが終わったらそのまま直帰なので、店に戻って来てという事は何かがない限り有りません…

しかも声の感じからして飲みに行こうという雰囲気でもありませんでした…

店に戻ってみると1番奥のテーブルで部長が1人、ビールを飲んで

僕を待っていました。

「お疲れ様ですっ部長。」

と声を掛け向かいのソファに腰を下ろすと、部長が僕にもビールを勧めてきたので戴いて飲み始めました。

最初は、たわいもない話ばかりしていたので、自分の思い過ごしかなと考え直し、2本目のビールを飲み終わった辺りで少し間を置いた後、部長が話を切り出し始めたのです…

「○○君っこの店はもうダメだねっ！これ以上良くならないよっ」

唐突にそう切り出されたので一瞬固まり、我に帰って理由を聞くと…

「店を良くしようと○○君と話合ったプランを社長に相談したらさあっ、そんな事なくていいっ！！なるべく金掛けないで今以上に売上上げる！だって。

言ってる事おかしくない！？

良くする為の投資もしないで売上だけ上がる訳ないじゃんねっ」

…それを聞いて僕は一瞬自分の中で冷たい風が吹き抜けていくのを感じました。

はつきり言っつて、その時点で店はかなり儲かっていました。

そう、社長の高級車も店の女の口を口説いて囲う金も店の売上から捻出されているのは聞かなくても明白でした。

そんな金の使い方をしておいて、一方で数十万の投資をケチる…僕も部長も何だかやる気が抜けてしまいました…

その後少しして、社長から僕にもその話関連で釘を刺され一層やる気が失せたのは言うまでもありません…

僕は、その数ヶ月後に店を辞めました、店の方はいえ半年後には潰れていました。

僕の夢はまたしても夢で終わってしまいましたが、夢を持って生きている皆さんには頑張っつて実現させてもらいたいと思う今日この頃ですっ



## 最悪な気分

今年もクリスマスが近づいてきましたねっ

話は変わりますが、皆さん、年に一度くらいは最悪な気分な時がありますよね！？

例えば恋人に振られた時やギャンブルに大負けした時、または受験や就職に失敗した時など…

日々の人間関係に疲れ果て、毎日仕事に行ったり学校に行くのが死ぬほど嫌な人も大勢いる事でしょう…

そんな時、アナタならどうやってその何もかもやめてしまいたいようなぶち壊したいような気分を解消しますか！？

昨今の日本では、そういう時に解消する術が無く、全く関係の無い人間を巻き込む重大事件が多発していますが、

このいわゆるガス抜きが上手く出来るかどうかで先の人生が大きく変わっていくような気がします。

僕の場合、何かとても嫌な事があってどうしようもない時…とりあえず寝ますっ（笑）

眠れるような精神状態じゃなくても無理矢理眠るんですっ人間少しでも眠れば、若干ですが気持ちが悪くなります。

その後、少し落ち着いてから考え始めるのです…  
何故そうなったのか！？や、どうしたら良いのかなどなど…

水商売の世界にいた時に、ブチ切れるような事に頻繁に遭遇する度に僕は寝る事の効果を実感しました。

皆さんも例えばクリスマス前に恋人に振られた時などに、実践してみて下さい。

友達に聞いてもらったり慰めてもらってもいいですが、友人といえど、人間は心の中では面白がっている場合が殆どなのでピエロにはなりたくない人にはお勧めの方法ですよっ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1393d/>

---

お水 裏街道

2010年10月17日15時14分発行